Pioneer sound.vision.soul

ハードディスク　デジタル　ジュークボックス

HDD DIGITAL JUKEBOX

X-HD1

本機のバージョンアップをする場合のお知らせなどで必要となりますので、ご愛用者カードにてユーザー登録は必ず行ってください。

メールサービス登録のご案内

http://www.pioneer.co.jp/members/

お買い上げいただきました製品についての「お客様オンライン登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと、プレゼントや懸賞商品が当たるキャンペーン/イベント情報や各種製品情報等のご案内をさせていただきます。
ご登録は上記URLにアクセスしてご利用ください。
（インターネット対応携帯電話からもご利用できます。）

新規登録されたお客様には、毎月プレゼントを抽選にて差し上げております。詳しくは、上記URLにアクセスしてください。

取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」「安全上のご注意」は、「保証書」「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意（絵表示について）

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

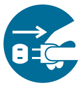
絵表示の例



△ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告［異常時の処理］



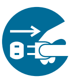
プラグを抜く

● **万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。**



プラグを抜く

● **万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。**



プラグを抜く

● **万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。**

もくじ

録音する

聞く

HDDを編集する

メモリースティックを使う

CHECK OUT/CHECK IN ⬅ ➡

MOVE OUT/MOVE IN M

IMPORT I

STORE/RESTORE

メモリースティックを編集する

メモリー内蔵型ポータブルオーディオを使う

CHECK OUT/CHECK IN ⬅ ➡

メモリー内蔵型ポータブルオーディオを編集むする

オーディオ機器を使う

その他

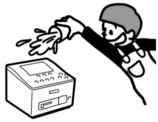
警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電により大けがの原因となります。

内部に水や異物を入れない

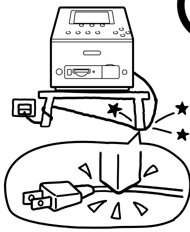
水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、ACアダプターをコンセントから抜き、カスタマーサポートセンターまたはお買い上げ店、パイオニアのサービス窓口にご相談ください。



禁止

電源コードを傷つけない

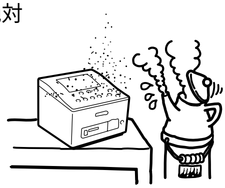
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
・ 熱器具に近づけない。加熱しない。
・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
万一、電源コードが傷んだら、カスタマーサポートセンターまたはお買い上げ店、パイオニアのサービス窓口に交換をご依頼ください。



禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

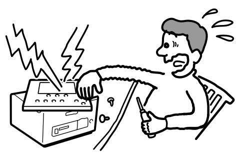
火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



禁止

分解や改造をしない

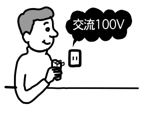
本機のカバーを外したり、改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となります。
内部の点検および修理はカスタマーサポートセンターまたはお買い上げ店、パイオニアのサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止

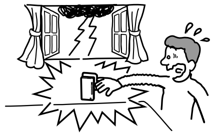
海外で使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。





接触禁止

⚠注意　下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。

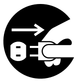




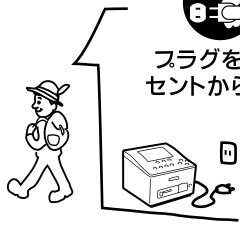
ぬれ手禁止

移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

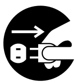


プラグをコンセントから抜く

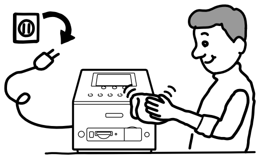


お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。
POWERスイッチを押して電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

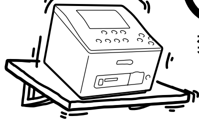


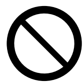
プラグをコンセントから抜く



安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。





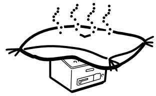
禁止

次ページへつづく

⚠警告・⚠注意（つづき）

通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



禁止

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

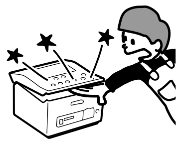
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクテーブルなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



禁止

円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状（星型、ハート型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがあります。

禁止

指定以外のACアダプターを使用しない

禁止

使用している状態で長時間さわらない

低温やけどの原因となることがあります。

禁止

レーザー光源をのぞきこまない

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

禁止

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

・小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
・機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
・充電しない。
・火の中に入れない。分解、加熱しない。
・コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
・火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
・外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
・指定された種類以外の電池は使用しない。
・液漏れした電池は使わない。

アルカリ電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

・アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

・液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
・液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

⚠注意

・乾電池は、同じ形状のものでも電圧が異なる場合があります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
・1ヶ月以上使用しないときは、乾電池の液漏れを防ぐためにも乾電池を取り出してください。もし液漏れが起きたときは、ケース内についた液をよくふき取り、新しい乾電池を入れてください。
・不要となった電池を廃棄する場合は、各自治体の指示（条例）に従って処理をしてください。

ハードディスクについて

ハードディスクは記録密度が高いので、本機で長時間録音やすばやい頭出し再生を楽しむことができます。その一方、ハードディスクはほこりや衝撃、振動に弱く、磁気を帯びた物に近い場所での使用は避ける必要があります。

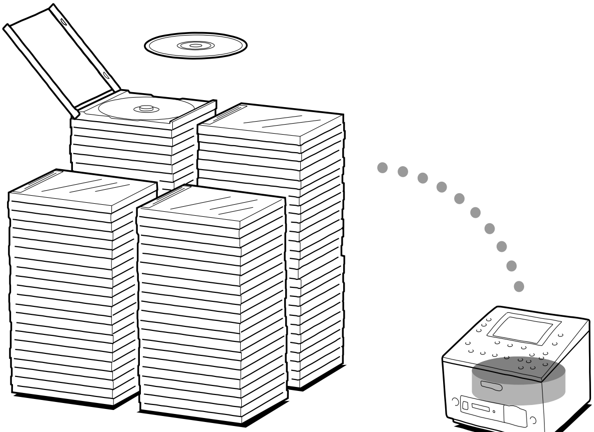
ハードディスクには衝撃や振動、ほこりからデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記録したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

● 電源入れたままACアダプターを外したり電源プラグをコンセントから抜かないでください。HDDが故障することがあります。
● 衝撃を与えないでください。
● 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
● 電源を入れたまま本機を動かさないでください。
● 電源がONの時に、コンセントを抜いたりしないでください。
● 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。

ハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。また記録されていたデータは、保証しません。ご容赦ください。

最大8倍＊1の高速録音が可能

曲名データベース＊2を内蔵し、自動タイトル入力が可能

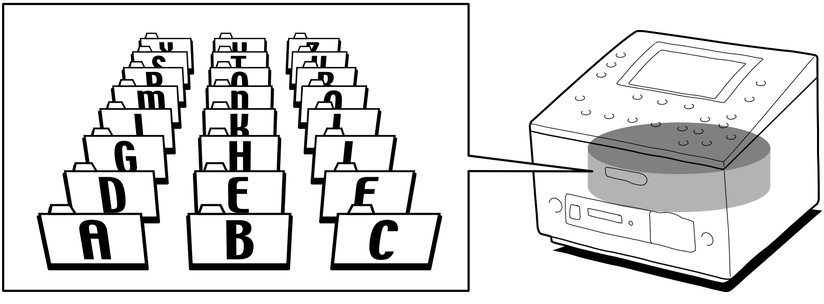


CD約100枚分（ビットレート105Kbps時）

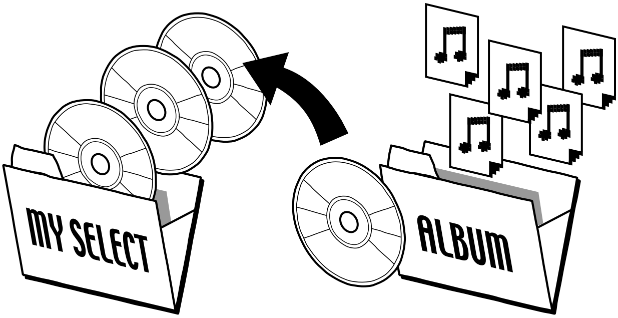
＊1 平均5倍速。

＊2 2001年上半期までの過去数年間に日本で発売されたCDの一部（約8万アルバム）の曲名（アルバム/アーティスト名も含む）をデータベース化したアルバム情報。

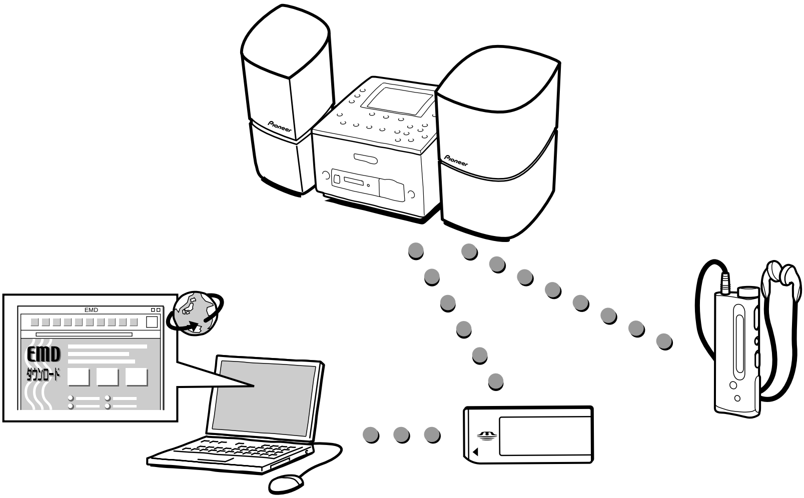
録音した曲をよく聞く順（TOP100）やアルファベット順に並べ替えて曲探しが簡単



録音したアルバムをフォルダで管理 好きな曲だけ集めたフォルダ（MY SELECT（マイ セレクト））の作成も可能



MGメモリースティックやメモリー内蔵型ポータブルオーディオ（OpenMG対応機種）にデータ転送可



ご注意
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品の不具合により、録音ができなかった場合および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。
- 本機はパソコンとのUSB接続・データ交換はできません。

用語解説

MagicGate（マジックゲート）

マジックゲート メモリースティックに記録するデータの暗号化と、マジックゲート メモリースティック対応機器の相互認証の2つの技術により著作権を保護する技術。デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぎます。機器とメモリースティックの両方にマジックゲートが搭載されている場合のみ働きます。マジックゲート対応機器とマジックゲート メモリースティックの間で、お互いに「マジックゲートに対応しているか」を確認（認証）し、確認できた場合のみデータをマジックゲート メモリースティックへ記録できます。データは記録時に暗号化されます。記録されたデータを再生するときも同様に、マジックゲート メモリースティックと機器が相互に確認し、確認された場合のみ再生できます。

ご注意

MAGICGATE は、ソニーが考案する著作権保護の仕組みを表す名称であり、各種メディア間の互換性を保証するものではありません。

マジックゲート　メモリースティック

IC記録メディアメモリースティックに著作権保護技術「MagicGate（マジックゲート）」を搭載したもの。音楽などの著作権保護が必要なデータは、マジックゲート　メモリースティックと「マジックゲート」対応機器（メモリー内蔵型ポータブルオーディオ（OpenMG対応機種）など）の組み合わせでのみ記録や再生ができます。マジックゲート　メモリースティックには、著作権保護が必要なデータだけでなく、その他のメモリースティック対応機器のデータを記録することもできます。
マジックゲート　メモリースティックには「MG」「MAGIC GATE」のロゴがついています。

メモリースティック

小型、軽量のIC記録メディア。著作権保護技術「マジックゲート」を搭載したマジックゲート　メモリースティック（MG メモリースティック）と、搭載していない一般のメモリースティックがあります。メモリースティック対応のA/V機器で画像や音楽、音声データを記録したり、パソコンでデータを記録できます。1枚のメモリースティックに異なる種類のデータを混在して記録することも可能です。（使用する機器によって、使える機能や扱えるデータの種類は異なります。）例えば、音楽データが入っているMG メモリースティックの空き部分に、画像を記録できる機器で画像データを記録することもできます。

OpenMG（オープンエムジー）

音楽配信サービスや音楽CDのコンテンツを本機やパソコンに取り込んで管理するための著作権保護技術。パソコンにインストールしたOpenMG対応ソフトウェアで、音楽コンテンツをハードディスクに暗号化して記録し、そのパソコン上での音楽の再生を楽しむことができる一方、インターネットなどへの不正な配信を防止します。また、「マジックゲート」に対応しているので、「マジックゲート」搭載の端末として認証された機器およびメディアにコンテンツの記録が可能です。

SDMI (Secure Digital Music Initiative)

「Secure Digital Music Initiative」の略。
全世界に共通して使用できる著作権保護技術の統一方式を開発するために、レコード業界、コンピュータ業界、民生用エレクトロニクス業界など約１３０社以上の企業・団体が集まり、構成されたフォーラムです。
音楽ファイルの違法な使用を阻止し、合法な音楽配信サービスを促進するための枠組み作りを行っています。著作権保護技術「OpenMG」、「MagicGate」はSDMIの規格に準拠しています。

CHECK OUT／CHECK IN (SDMIで定義された用語)

本機のＨＤＤに録音した音楽データを、外部機器／メディア（メモリー内蔵型ポータブルオーディオ（OpenMG対応機種）など）に転送することを「チェックアウト」と言い、チェックアウトした音楽データを本機に戻すことを「チェックイン」と言います。（チェックアウトしたデータをパソコンや他のハードディスクデスクトップオーディオシステムにチェックインすることはできません。）
一度チェックアウトしたデータをチェックインにより本機に戻した後、再びチェックアウトすることも可能です。
特別に利用方法に関する条件が付加された音楽データを除き、SDMIの基本ルールでは音楽データは1回のコピーで４部まで作成可能なため、1部は本機のＨＤＤに保存され、残りの３部は外部機器／メディアへチェックアウトできます。

MOVE IN／MOVE OUT (SDMIで定義された用語)

ネットワーク配信などで購入したMOVE* 可能という属性をもつ曲を、外部機器/メディアから本機に移動させることをMOVE INといい、反対にMOVE INした曲を本機から外部機器/メディアに移動させることをMOVE OUTといいます。

* MOVEとは曲を移動することです。移動なので元の場所からは曲は消えることになります。
本機では、MOVE属性を持つ曲を作成することはできません。MOVE OUTすると、本機内の曲は消えます。

IMPORT (SDMIで定義された用語)

ネットワーク配信などで購入したり、本機以外の外部機器/メディアで録音したIMPORT可能という属性をもつ曲を、本機に取り込むことをIMPORTといいます。いったんIMPORTすると、その曲は本機で録音した曲と同様な振る舞いになり、曲に付加されている条件内で、CHECK OUT/INのみの操作ができます。

ATRAC3

「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略。高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術です。音声データをCDの約1/10に圧縮可能で、メディア容量の小型化が可能です。

ビットレート

1秒あたりの、情報量を表わす数字のことです。単位はbps (bit per second)。読みかたは、「ビーピーエス」です。X-HD1では、CDを録音する際にビットレートを132kbps/105kbpsから選べます。例えば、105kbpsは、1秒間に105000bitの情報を持っているということを表わします。この数字が大きい程、音楽を再現するために多くの情報を持っているということになるため、同じ符号化方式（ATRAC3など）の比較では、一般的に105kbpsよりも132kbpsの方が良い音で楽しめるということになります。（MP3等、他の符号化方式の音とは単純な比較はできません。）

付属品の確認

- リモコン ×1
- ACアダプター ×1
- 電源コード ×1
- 単3形乾電池×2
- 取扱説明書×1
- ご相談窓口・修理窓口のご案内×1
- 安全上のご注意×1
- ご愛用者カード*×1
- 保証書×1

* 本機のバージョンアップをする場合などに必要となりますので、ユーザー登録は必ず行ってください。

使用上のご注意

本機で再生できるディスクの種類

- **再生できるディスクの種類とマーク**（ディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています）。

CD

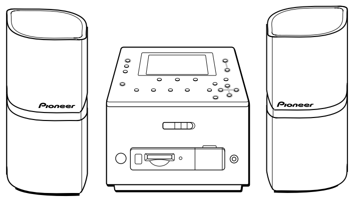
* **CD-R、CD-RWディスクの再生について**
本機では、CD-RやCD-RWディスクを再生することができません。

- 音楽CDフォーマットで記録されたCD-Rディスクについては、再生可能な場合もありますが、曲間でノイズが発生したり、⏮ ⏭で曲を選んだりすることができない場合があります。

DIRECT DIFFUSEスピーカーについて

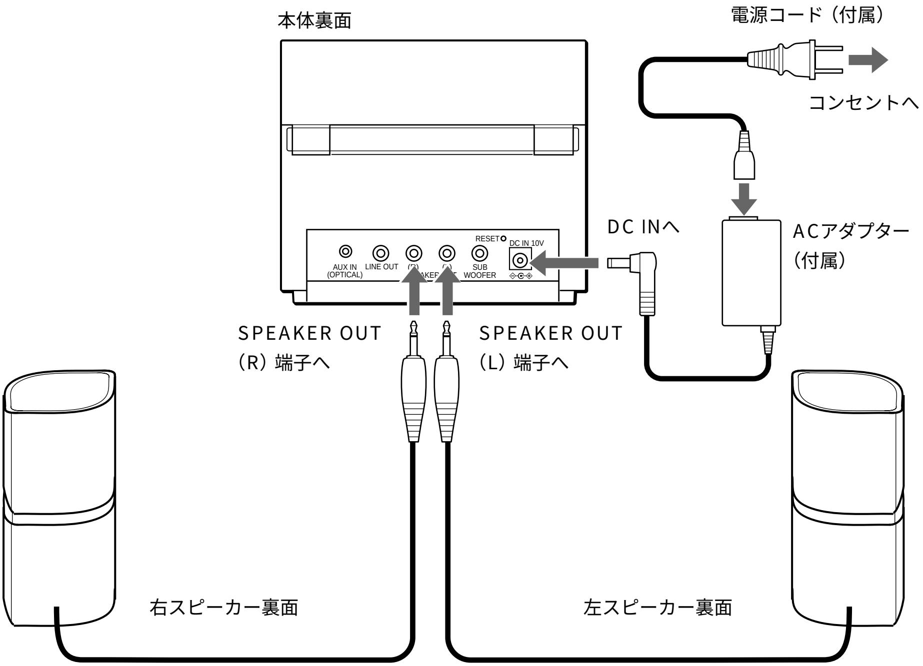
DIRECT DIFFUSEスピーカーは、前面に搭載したユニットでDIRECT（直接）音を、上部に搭載したユニットでDIFFUSE（拡散）音を出力し、立体的で心地よい響きを表現することができます。
その効果を十分に発揮させるために、以下の点に注意してください。

- 基本として以下のイラストのように、パイオニアのロゴが前面の位置になるように設置してください。



家具などの周囲の反射物によって音場が不自然になる場合は、前面グリルの曲面部を正面に向けることで改善されることがあります。
スピーカーの再生音はリスニングルームの条件によって影響を受けやすいものですから、スピーカーの位置を変えて、最適な状態でご使用ください。
- 棚に設置する場合は、スピーカー上部と棚との間隔を30cm以上あけてください。また、スピーカー上部に物をのせることは音響効果を妨げるだけでなく、スピーカーの故障の原因になりますので、おやめください。
- 直射日光の当たる場所や暖房機具の近くには設置しないでください。キャビネットが変形したり、変色したりして、故障の原因となります。
- 不安定な場所に設置するのは大変に危険ですので、おやめください。
- このスピーカーシステムは、テレビとの近接使用が可能ですが、設置のしかたによっては色ムラを生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。
その後も色ムラが残る場合は、スピーカーシステムをテレビからさらに離してご使用ください。

1 つなぐ／準備する

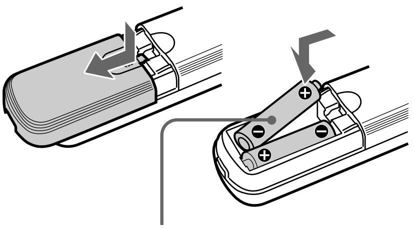


ご注意

- （R）端子につないだスピーカーは向かって右へ、（L）端子につないだスピーカーは向かって左へ置いてください。
- スピーカーを本システム以外のアンプに接続しないでください。故障、火災の原因になることがあります。

リモコンに電池を入れる

必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。



ちょっと一言

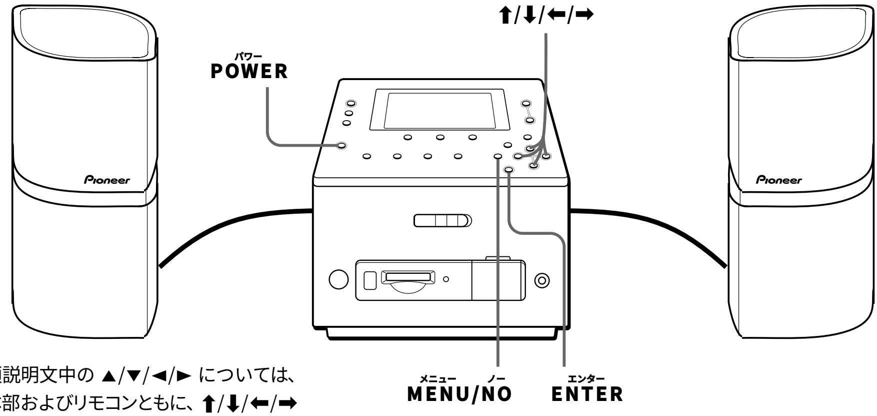
電池の交換時期は約6か月です。リモコン操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい乾電池に交換してください。

⚠注意

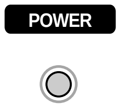
- 使いきった電池は取りはずしてください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。

2 時計を合わせる

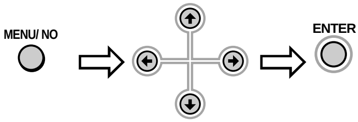
タイマーで自動的に再生をはじめたり（タイマー再生）電源を切る（タイマースリープ）には、あらかじめ本機の時計を合わせておいてください。また、本機の時計を合わせておかないと再生期限付きの曲を再生できません。



手順説明文中の ▲/▼/◄/► については、本体部およびリモコンともに、⬆/⬇/⬅/➡ に対応しています。

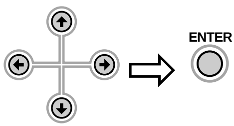


1 POWER（パワー）を押して電源を入れる。

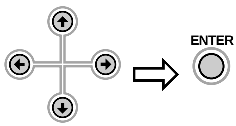


2 MENU/NO（メニュー/ノー）を押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「設定」を選びENTER（エンター）を押す。

FUNCTIONを押して「CD」または「AUX」を選んでいるときには、MENU/NOを押して「タイマー」を選びENTERを押してから、手順4に進んでください。

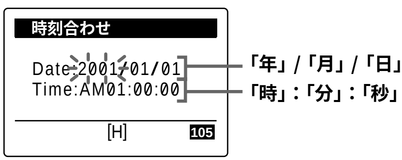


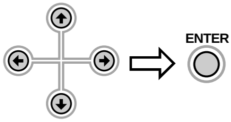
3 ▲または▼を押して「タイマー」を選びENTER（エンター）を押す。



4 ▲または▼を押して「時刻合わせ」を選びENTER（エンター）を押す。

「年」が点滅します。





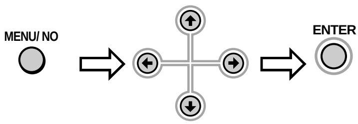
5 ▲または▼を押して「年」を合わせENTERを押す。

「月」が点滅します。
同様に「月」、「日」、「時」、「分」、「秒」を合わせます。
「秒」を合わせてENTERを押すと、時計が動きはじめます。

途中で設定をやめるには

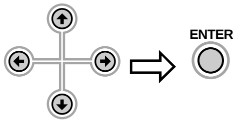
MENU/NOを押してください。

表示窓の濃淡を調節する

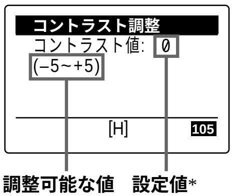


1 MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「設定」を選びENTERを押す。

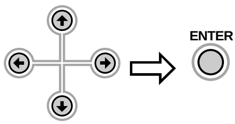
FUNCTIONを押して「CD」または「AUX」を選んでいるときには、MENU/NOを押して「コントラスト調整」を選びENTERを押してから、手順3に進んでください。



2 ▲または▼を押して「コントラスト調整：」を選びENTERを押す。



＊ お買い上げ時は0に設定されています。



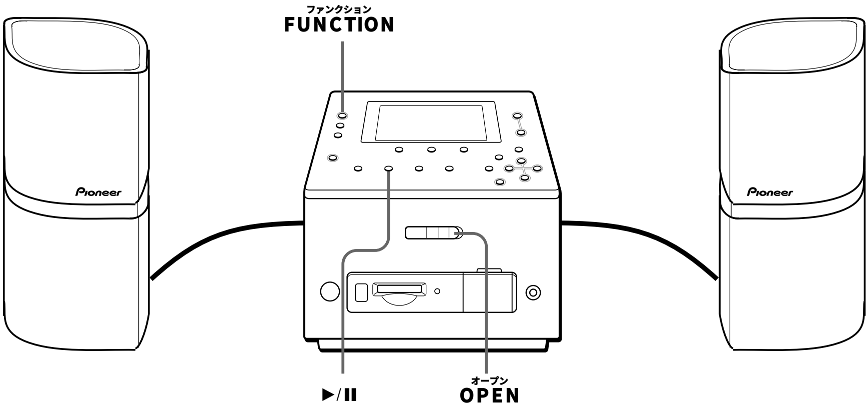
3 表示を見ながら▲または▼を押して表示窓の濃淡を調節しENTERを押す。

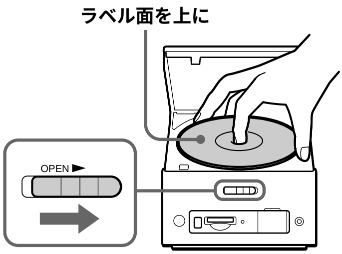
途中で設定をやめるには

MENU/NOを押してください。

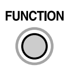
3 音楽CDを聞く

いちばん簡単な音楽CDを演奏させてみましょう！

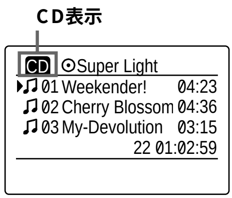




1 **OPENをスライドさせてふたを開け、CDをセットし、ふたを閉める。**



2 **FUNCTIONを繰り返し押して「CD」を表示させる。**





3 **▶/IIを押して再生をはじめる。**

再生時には次の操作を行うことができます。

こんなときは	操作
再生を一時停止する	再生中に▶/❚❚を押す。
再生を止める	再生中に■を押す。
倍速で再生する	再生中に▶/❚❚を2秒以上押す（表示窓に「×2」が表示されます）。
倍速再生を通常再生に戻す	倍速再生中に▶/❚❚を2秒以上押す。
曲を選ぶ（進む）	再生（一時停止）または停止中に▶▶❙を押す。
曲を選ぶ（戻る）	再生（一時停止）または停止中に❙◀◀を押す。
曲の聞きたい部分を探す（進む）	再生（一時停止）中に▶▶❙を押し続ける（表示窓に「▶▶」が表示されます）。
曲の聞きたい部分を探す（戻る）	再生（一時停止）中に❙◀◀を押し続ける（表示窓に「◀◀」が表示されます）。
全曲を繰り返し聞く	再生（一時停止）または停止中にPLAY MODEを繰り返し押して「⊂」を表示させる。
選んだ1曲を繰り返し聞く	再生（一時停止）または停止中にPLAY MODEを繰り返し押して「⊂1」を表示させる。
全曲を順不同に聞く	再生（一時停止）または停止中にPLAY MODEを繰り返し押して「⊂RANDOM」を表示させる。

💡

手順2の後、停止中に▲または▼を押して曲を選んでから▶/❚❚またはENTER（エンター）を押して再生をはじめることもできます。

リモコンの数字ボタンで曲を選んで再生する

目的の曲番の数字を押してからENTER（エンター）を押してください。

（例）15曲目を再生する場合

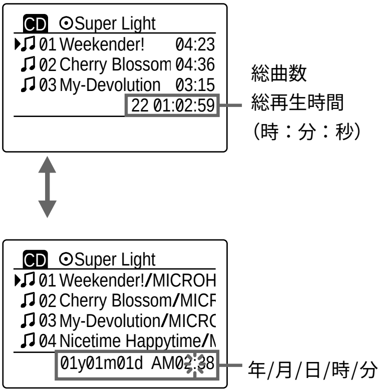
数字ボタン「1」、「5」を順に押してからENTER（エンター）を押す。

ご注意

ランダム再生時には、リモコンの数字ボタンを押して曲を再生することはできません。

表示を切り換える

停止中にDISPLAY（ディスプレイ）を繰り返し押すと、押すたびに次のように表示が切り換わります。



再生（一時停止）中にDISPLAY（ディスプレイ）を繰り返し押すと、押すたびに次のように表示が切り換わります。

曲番/曲名/アーティスト名/曲の再生経過時間

↓

曲番/曲名/アーティスト名/曲の残り時間

↓

曲番/曲名/アーティスト名/曲の再生時間/曲リスト*

↓

グラフィック表示

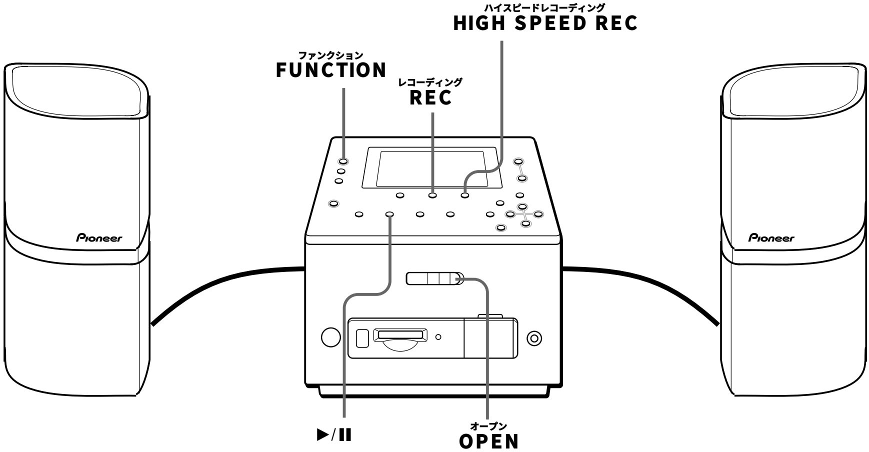
* ▲または▼を押して、リストから曲を選び▶/❚❚またはENTER（エンター）を押して再生をはじめることができます。

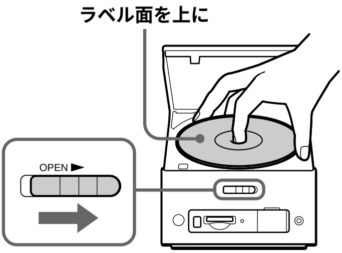
💡

最初からCDのタイトルなどが表示されることがあります。これは、本機に内臓のタイトルデータベースに基づいて表示されるためです。詳しくは、28ページをご覧ください。

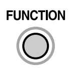
4 音楽CDをHDDに録音する

ここでは1枚の音楽CDを本機のHDDに全曲録音して、その録音したCDを1曲目から通して聞く方法を説明します。最も簡単な方法ですが、24ページのHDDのしくみを理解してからご使用することをお勧めします。



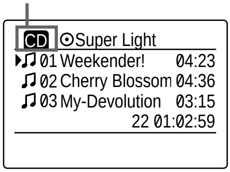


1 OPENをスライドさせてふたを開け、CDをセットし、ふたを閉める。



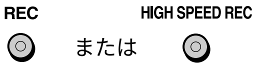
2 FUNCTIONを繰り返し押して「CD」を表示させる。

CD表示



3 録音の準備をする。

次の2種類の録音方法から選ぶことができます。



こんなときは	押すボタン
CDを聞きながら録音をする	REC
最大8倍のスピードで録音をする。（曲のはじめの部分が聞こえます。）	HIGH SPEED REC

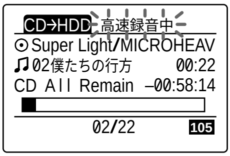


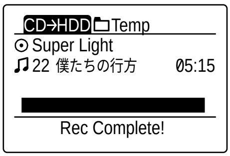
録音一時停止状態になり、押したボタンのLEDが点滅します。

4 ▶/IIを押す。

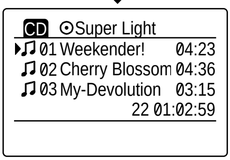


録音がはじまり、手順3で押したボタンのLEDが点灯に変わります。





全曲の録音が終わると自動的に停止します。



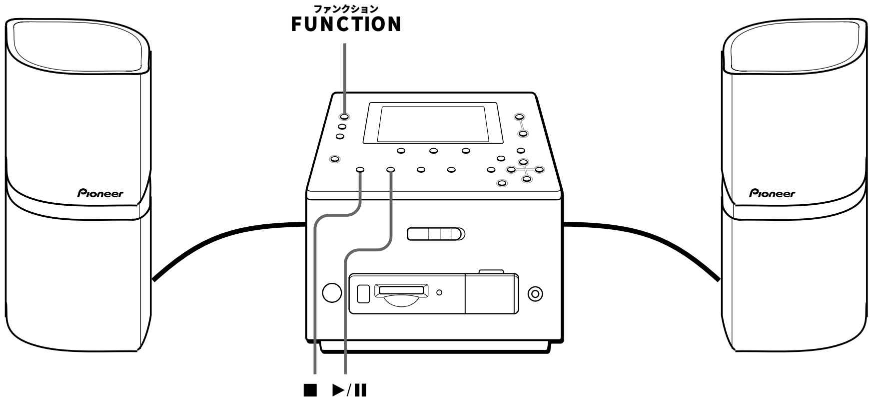
途中で録音を止めるには

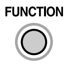
■を押してください。止めた曲の前の曲まで録音されます。

ご注意

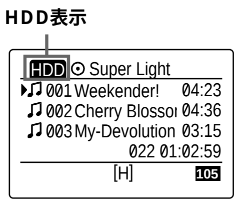
- 録音中にCDプレーヤー部のふたを開けないでください。
- **ハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。また記録されていたデータは、保証しません。ご容赦ください。**

5 HDDに録音した曲を聞く





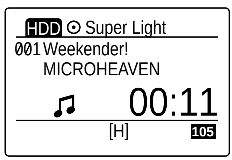
1 FUNCTION(ファンクション)をくり返し押して「HDD(ハードディスク)」を表示させる。





2 ▶/IIを押す。

録音したCD（アルバム）の1曲目から再生がはじまります。

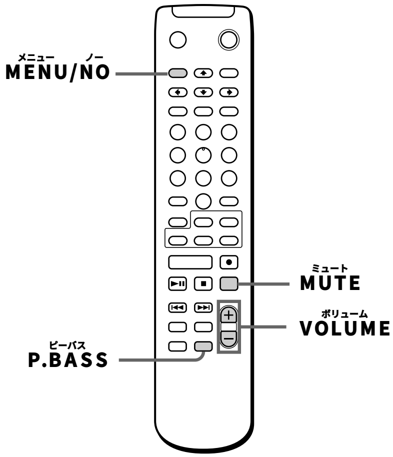


途中で聞くのをやめるには

■を押してください。



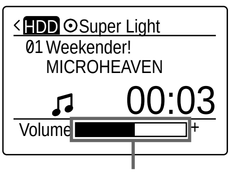
6 音量/音質を調整する



音量を調整する

音を聞きながら、または音量表示を見ながらVOLUME+または–を繰り返し押して調整する。

本体で操作する場合は、VOLUME UPまたはDOWNを繰り返し押して調整します。
押し続けると連続して増減できます。

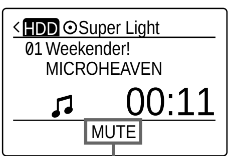


音量表示

ワンタッチで音を消したり元に戻したりする

リモコンのMUTEを押す。

もう一度押すと元の音量に戻ります。



消音表示

音質を調整する（P.BASS）

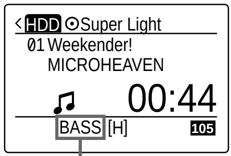
低音を強調して迫力のある音にします。

● リモコンで操作する

P.BASSを繰り返し押す。

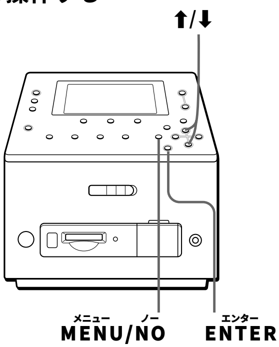
押すたびに以下のように表示が変わります。

BASS ↔ 表示なし



P.BASS表示

● 本体で操作する



1 **MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「設定」を選びENTERを押す。**

2 **▲または▼を押して「P.BASS：」を選びENTERを押す。**

3 **▲または▼を押して設定を選びENTERを押す。**

項目	設定
ON	低音強調
OFF	解除

HDD内のしくみ

曲はフォルダで分類します

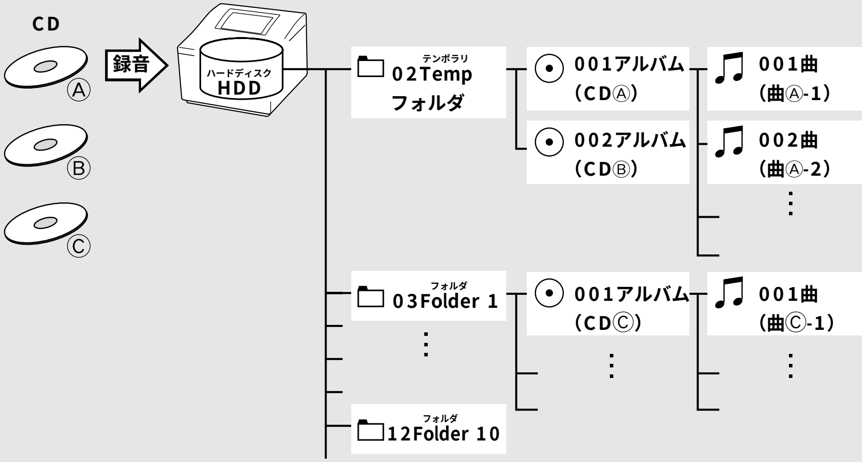
曲を録音するたびに新しいアルバムが自動的に作られ、そのアルバムの中に曲が納められます。これらのアルバムは、フォルダに分類して録音することができます。

録音時に分類する

- **フォルダを選ばずに録音すると…（イラスト中のCD Ⓐ、Ⓑ）**
  自動的にTemp（テンポラリ）フォルダに録音されます。録音した曲は、録音した後にお好みのアルバムに移動することができます。同様にアルバムをお好みのフォルダに移動することができます。（「MOVE（曲/アルバム/フォルダの順番を変える）」50ページ）
- **フォルダを選んで録音すると…（イラスト中のCD Ⓒ）**
  あらかじめ用意されている10個のフォルダ（Folder（フォルダ） 1～10）、または新しく追加したフォルダを選んで録音します。（「フォルダを選んで録音する」26ページ「新しいフォルダを作る」45ページ）
  フォルダ名は、お好みで変更することができます。（「フォルダ名を変更する」46ページ）

HDD（ハードディスク）内のフォルダ、アルバム、曲の構成

（例）
- CD Ⓐ、Ⓑはフォルダを選ばずに録音した場合
- CD Ⓒは03Folder（フォルダ） 1を選んで録音した場合



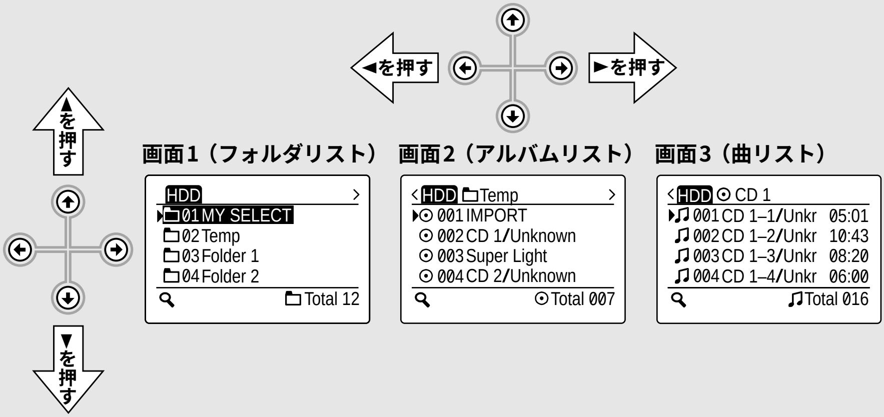
画面の切り換えと画面内での選択

左記のようなHDD内の構成を一度に表示することはできないので、本機ではフォルダやアルバム、曲のリスト画面にして表示します。次のように矢印キーを押して目的のフォルダ、アルバム、曲を選ぶことができます。

（例）

Temp（テンポラリ）フォルダ内のCD1というアルバムの1曲目を選ぶ場合は、画面1からはじめる場合、次の順番で矢印キーを押します。

▼→►→▼→►



リスト画面にはそれぞれ4個までのフォルダ、アルバム、曲が表示されます。



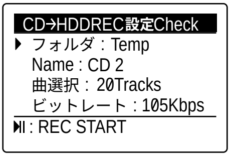
フォルダを選んで録音する

Tempフォルダ以外のフォルダを選んでその中に録音することができます。

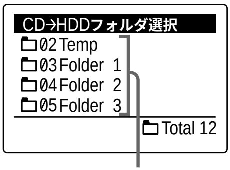
1 **電源を入れてCDをセットしてから、FUNCTIONを繰り返し押して「CD」を表示させる（18、20ページ）。**

2 **RECまたはHIGH SPEED RECを押す（21ページ）。**

録音一時停止状態になり、押したボタンのLEDが点滅します。



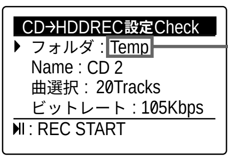
3 **▲または▼を押して「フォルダ：」を選びENTERを押す。**



フォルダのリスト＊

＊ お買い上げ時、03～12の名前は「Folder」になっています。

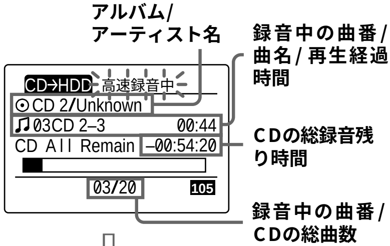
4 **▲または▼を押して目的のフォルダを選びENTERを押す。**

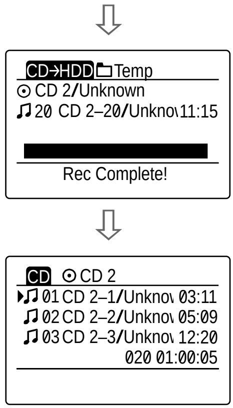


選ばれたフォルダ

5 **▶/IIを押す。**

録音がはじまり、手順2で押したボタンのLEDが点灯に変わります。





全曲の録音が終わると自動的に停止します。

途中で録音を止めるには

■を押してください。

表示を切り換える

録音中にDISPLAYを繰り返し押すと、押すたびに次のように表示が切り換わります。

↓

アルバム/アーティスト名
録音中の曲番/曲名/再生経過時間
CDの総録音残り時間
録音中の曲番/CDの総曲数

↓

アルバム/アーティスト名
録音中の曲番/曲名/再生経過時間
録音中の曲の録音残り時間
録音中の曲番/CDの総曲数

↓

HDDの空き時間
録音中の曲番/CDの総曲数

ご注意

- 時計を合わせる前にRECあるいはHIGH SPEED RECを押すと、自動的に「2時計を合わせる」の手順4（16ページ）の画面に変わります。
  この場合、時計を合わせてからもう一度録音をはじめてください。
- 曲の途中で録音を止めたときは、止めた曲の前の曲まで録音されます。録音途中の曲は録音されません。
- 1つのフォルダに録音できるアルバム数は最大で200、HDD全体で1000です。
- HDDに録音できる曲数は最大で3000です。
- 1つのアルバム（MY SELECTリスト）に録音できる曲数は最大で400です。
- **ハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。また記録されていたデータは、保証しません。ご容赦ください。**

フォルダ名を変更することもできます。（46ページ）

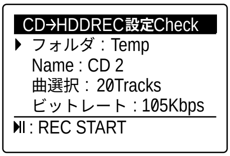
アルバム名を編集して録音する

本機には、2001年上半期までの過去数年間に日本で発売されたCDの一部（約8万アルバム）の曲名（アルバム/アーティスト名も含む）をデータベース化したアルバム情報があらかじめ入っています。本機はこのデータベースに基づき、録音する曲にこれらの情報を自動的に付けます。
データベースにアルバム情報が無い場合には、「⊙CD10」や「♫CD10-1/Unknown」のような名前を自動的に付けます。
自動で付いた情報は、編集することができます。

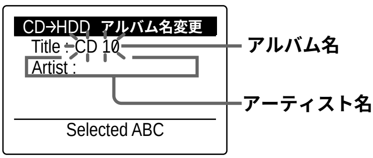
1　電源を入れてCDをセットしてから、FUNCTIONを繰り返し押して「CD」を表示させる（18、20ページ）。

2　RECまたはHIGH SPEED RECを押す（21ページ）。

録音一時停止状態になり、押したボタンのLEDが点滅します。



3　▲または▼を押して「Name：」を選びENTERを押す。



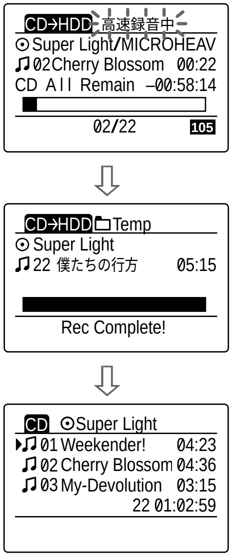
DISPLAYを繰り返し押してアルバム名またはアーティスト名を選んでください。
選ばれた名前が点滅し、文字を入力できる状態になります。

4　「フォルダ名を変更する」の手順6〜9（46ページ）の操作をしてアルバム名を入力する。

5　ENTERを押してアルバム/アーティスト名を確定する。

6　▶/IIを押す。

録音がはじまり、手順2で押したボタンのLEDが点灯に変わります。



全曲の録音が終わると自動的に停止します。

途中で録音を止めるには

■を押してください。

💡

- アルバム名、アーティスト名は、ひらがな（カタカナ、漢字）でそれぞれ最大127文字（英数文字で最大255文字）づつ、曲名は最大255文字（英数文字で最大511文字）までの名前を付けることができます。
- 「⊙CD10」や「♫CD10-1/Unknown」のような名前では再生するときに曲を探しにくいので、編集しておくことをお勧めします。

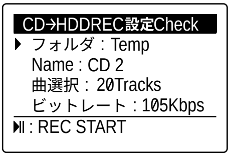
好きな曲だけを録音する

CDの中からお好みの曲だけを選んで録音することができます。

1 電源を入れてCDをセットしてから、FUNCTIONを繰り返し押して「CD」を表示させる（18、20ページ）。

2 RECまたはHIGH SPEED RECを押す（21ページ）。

録音一時停止状態になり、押したボタンのLEDが点滅します。



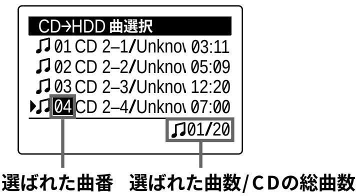
3 ▲または▼を押して「曲選択：」を選びENTERを押す。

データベースにアルバム情報がある場合は、曲名が表示されます。＊



＊ データベースにアルバム情報が無い場合は、「♫CD2-1/Unknown」のような名前が表示されます。

4 ▲または▼を押して目的の曲を選びSELECTを押す。



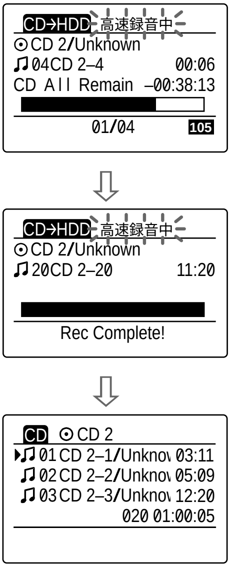
5 手順4を繰り返し目的の曲を選ぶ。

6 ENTERを押す。



7 ▶/❚❚を押す。

録音がはじまり、手順2で押したボタンのLEDが点灯に変わります。



全曲の録音が終わると自動的に停止します。

アルバム全体を1度に選ぶには

手順4でSELECTを押し続けてください。
選ぶのをやめるには、もう一度SELECTを押し続けてください。

途中で録音を止めるには

■を押してください。

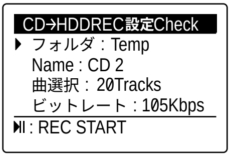
録音レベルを調整する

録音する前に選んだ曲を再生しながら、お好みの音量に調整することができます。

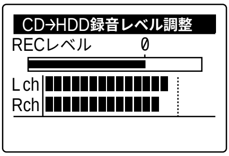
1　電源を入れてCDをセットしてから、FUNCTIONを繰り返し押して「CD」を表示させる（18、20ページ）。

2　RECまたはHIGH SPEED RECを押す（21ページ）。

録音一時停止状態になり、押したボタンのLEDが点滅します。

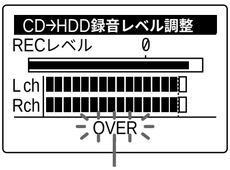


3　▲または▼を押して「録音レベル：」を選びENTERを押す。



4　◄または►を押して録音レベルを調整する。

OVERが表示されない範囲で調節してください。



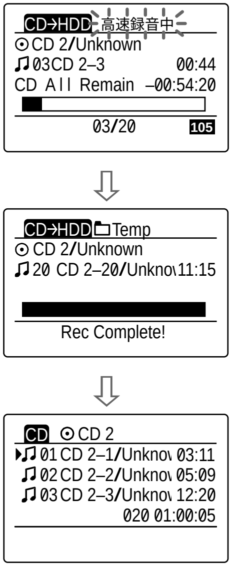
OVER表示

5　ENTERを押して録音レベルを確定する。



6　►/❚❚を押す。

録音がはじまり、手順2で押したボタンのLEDが点灯に変わります。



全曲の録音が終わると自動的に停止します。

途中で録音を止めるには

■を押してください。

ビットレートを選ぶ

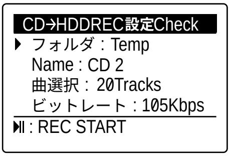
本機では録音時のビットレートを132kbps*と105kbpsの2つから選ぶことができます。132kbpsを選ぶと105kbpsよりは音質が良くなりますが、録音できる時間が短くなります。

* お買い上げ時の設定

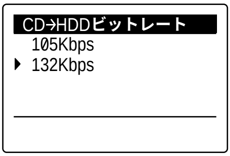
1　電源を入れてCDをセットしてから、FUNCTIONを繰り返し押して「CD」を表示させる（18、20ページ）。

2　RECまたはHIGH SPEED RECを押す（21ページ）。

録音一時停止状態になり、押したボタンのLEDが点滅します。



3　▲または▼を押して「ビットレート：」を選びENTERを押す。

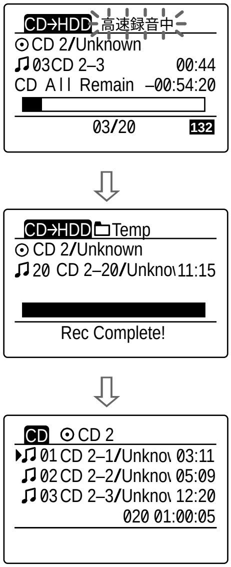


4　▲または▼を押して「132Kbps」または「105Kbps」を選びENTERを押す。



5　▶/❚❚を押す。

録音がはじまり、手順2で押したボタンのLEDが点灯に変わります。



全曲の録音が終わると自動的に停止します。

途中で録音を止めるには

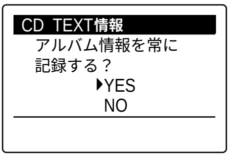
■を押してください。

CD TEXT情報を記録する

録音時にアルバム名、曲名、アーティスト名を自動的に記録するか、しないかの設定ができます。

1 電源を入れてCDをセットしてから、FUNCTIONを繰り返し押して「CD」を表示させる（18、20ページ）。

2 MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲ または▼ を押して「CD TEXT情報」を選びENTERを押す。



3 ▲または▼を押して設定を選びENTERを押す。

項目	設定
YES*	CD TEXTのアルバム情報を常に記録する
NO	CDによってはCD TEXT情報を自動的に記録しない場合がある

＊お買い上げ時の設定

途中で設定を止めるには

MENU/NOを押してください。

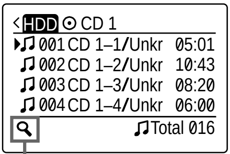
- CDソフトは次のマークが記載された「CD TEXT」対応のもののみ有効です。
- 本機で表示できるCD TEXT情報は日本語、英数字、記号です。
- 本機のデータベースにアルバム情報がある場合はCD TEXT情報は反映されません。

曲を選んで聞く

1 電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「HDD」を表示させる（22ページ）。

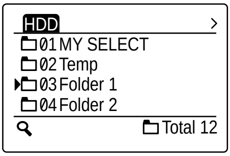
2 ◄、►、▲または▼を押して検索アイコンを表示させる。

曲リストが表示された場合



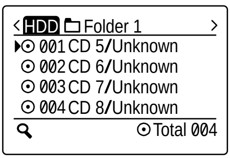
検索アイコン

3 ◄を2回押してフォルダのリストを表示させてから、▲または▼を押して目的のフォルダ*を選ぶ。

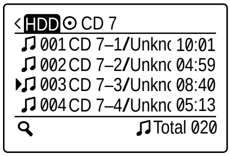


* 録音の際に「フォルダ：」の設定をしない場合、曲は全てTempフォルダに録音されます。

4 ►を押してアルバムのリストを表示させてから、▲または▼を押して目的のアルバムを選ぶ。

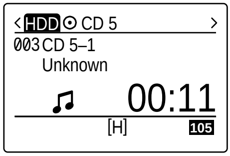


5 ►を押して曲のリストを表示させてから、▲または▼を押して目的の曲を選ぶ。



6 ►/❚❚またはENTERを押す。

選んだ曲の再生がはじまります。



- ▼を押すと、リストの続きを表示することができます。
- 手順３の後に►/❚❚またはＥＮＴＥＲを押すと、選んだフォルダの最初のアルバムの最初の曲から再生がはじまります。
- 手順４の後に►/❚❚またはＥＮＴＥＲを押すと、選んだアルバムの最初の曲から再生がはじまります。

次ページへつづく

曲を聞きながら別の曲を探す

1 **◄、►、▲または▼を押して検索アイコンを表示させる。**
検索アイコンが表示された状態で、曲を探している間でも演奏は続きます。

2 **◄、►、▲または▼を押して曲を選ぶ。**

3 **►/❚❚またはENTERを押す。**
選んだ曲の再生がはじまります。

途中で曲を選ぶのをやめるには

MENU/NOを押してください。

再生時には次の操作を行うことができます。

こんなときは	操作
再生を一時停止する	再生中に►/❚❚を押す。
再生を止める	再生中に■を押す。
倍速で再生する	再生中に►/❚❚を2秒以上押す（表示窓に「×2」が表示されます）。
曲を選ぶ（進む）	再生（一時停止）または停止中に►►❙を押す。
曲を選ぶ（戻る）	再生（一時停止）または停止中に❙◄◄を押す。
曲の聞きたい部分を探す（進む）	再生（一時停止）中に►►❙を押し続ける（表示窓に「►►」が表示されます）。 しばらく押し続けると進むスピードが速くなります（表示窓に「►►►」が表示されます）。
曲の聞きたい部分を探す（戻る）	再生（一時停止）中に❙◄◄を押し続ける（表示窓に「◄◄」が表示されます）。 しばらく押し続けると戻るスピードが速くなります（表示窓に「◄◄◄」が表示されます）。
アルバムを選ぶ（進む）*1	再生（一時停止）または停止中にALBUM ＋を押す。
アルバムを選ぶ（戻る）*1	再生（一時停止）または停止中にALBUM －を押す。

*1 リモコンのみで操作できます。

リモコンの数字ボタンで曲を選んで再生する

目的の曲番の数字を押してからENTERを押してください。

（例）316曲目を再生する場合

数字ボタン「3」、「1」、「6」を順に押してからENTERを押す。

ご注意

ランダム再生、スロットマシン再生時には、リモコンの数字ボタンを押して曲を再生することはできません。

表示を切り換える

停止中にDISPLAYを繰り返し押すと、押すたびに次のように表示が切り換わります。

曲番/曲名/アーティスト名/曲の再生時間/総曲数/総再生時間（時：分：秒）

↓

曲番/曲名/アーティスト名

↓

HDDの空き時間

↓

曲の付加情報*2

↓

曲番/曲名/アーティスト名/録音年月日/カレンダー（年/月/日）/時計*3

（最初に戻る）

*2 各アイコンの意味は次の通りです。

アイコン	意味
➡	CHECK OUT残り回数（数字）
M	MOVE OUTの可/不可（○/×）
	再生回数制限の有/無（○/×）
	再生期限の有/無（○/×）

*3 時計を合わせていないときは「00y00m00d AM12:00」が点滅します。

再生（一時停止）中にDISPLAYを繰り返し押すと、押すたびに次のように表示が切り換わります。

曲番/曲名/アーティスト名/曲の再生経過時間

↓

曲番/曲名/アーティスト名/曲の残り時間

↓

曲の付加情報*4

↓

曲番/曲名/アーティスト名/曲の再生時間

↓

グラフィック表示*5

（最初に戻る）

*4 各アイコンの意味は次の通りです。

アイコン	意味
➡	CHECK OUT残り回数（数字）
M	MOVE OUTの可/不可（○/×）
	再生回数制限の残り回数（数字）
	再生期限（年月日時分）

*5 SELECTを押すたびに表示が変わります。

- 曲の付加情報に一覧される項目について、詳しくはそれぞれ次の参照ページをご覧ください。
  CHECK OUT（13、61、62、76ページ）
  MOVE OUT（13、61、66ページ）
  再生回数制限（37ページ）
- 再生回数制限（37ページ）付きの曲は、再生するたびに（30秒連続して（30秒未満の曲は全曲）再生した場合「再生」とみなされます）、再生可能回数が1づつ減ります。

順不同に聞く
（ランダム/スロットマシン再生）

1 電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「HDD」を表示させる（22ページ）。

2 ▶/❚❚を押して再生をはじめる。

3 PLAY MODEを繰り返し押して「RANDOM」または「SLOT」を表示させる。

表示	再生のしかた
RANDOM（ランダム再生）	選んだ再生範囲* の全曲をランダムに再生する。
SLOT（スロットマシン再生）	HDDの全曲をランダムに再生する。

* 詳しくは、下記の「HDDの再生エリアを設定する」をご覧ください。

普通の再生に戻すには

PLAY MODEを繰り返し押して「RANDOM」または「SLOT」を消してください。

- CDとメモリースティック再生時（18、60ページ）にもランダム再生ができます。
- スロットマシン再生の場合は、HDDの再生エリアを指定しなくてもHDDの全曲をこのモードで再生します。

HDDの再生エリアを設定する

通常再生をはじめ、ランダム再生やリピート再生をする際、これらのモードで再生する範囲を指定することができます。
[H]（HDD全体）、[F]（選ばれているフォルダ全体）、[A]（選ばれているアルバム全体）から選べます。



再生エリア表示

● リモコンで操作する

変換/AREAを繰り返し押す。

押すたびに以下のように表示が変わります。

→[H]* → [F] → [A] →

* お買い上げ時の設定

● 本体で操作する

1 電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「HDD」を表示させる（22ページ）。

2 MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「設定」を選びENTERを押す。

3 ▲または▼を押して「HDD再生エリア」を選びENTERを押す。

4 ▲または▼を押してHDD再生エリアを選びENTERを押す。

項目	再生エリア表示	選んだモードで再生できる範囲
HDD全体	[H]*	HDD全体
フォルダ	[F]	選ばれているフォルダ全体
アルバム	[A]	選ばれているアルバム全体

* お買い上げ時の設定

ご注意

- アルバム[A]を選んだ場合、再生エリアはアルバムに限定されるため、リモコンのALBUM +/– でアルバムを選ぶことはできません。

繰り返し聞く

（リピート再生）

1 **電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「HDD」を表示させる（22ページ）。**

2 **▶/❚❚を押して再生をはじめる。**

3 **PLAY MODEを繰り返し押して、「↻1」または「↻」を表示させる。**

表示	再生のしかた
↻1 （1曲リピート）	選んだ曲を繰り返し再生する。
↻ （オールリピート）	選んだアルバム/フォルダ/HDD全体*の曲を繰り返し再生する。

* お買い上げ時、再生エリアはHDD全体（[H]）に設定されています。この設定は変更することができます。「HDDの再生エリアを設定する」（36ページ）をご覧ください。

普通の再生に戻すには

PLAY MODEを繰り返し押して「↻1」または「↻」を消してください。

CDとメモリースティック再生時（18、60ページ）にもリピート再生ができます。

再生回数制限付きの曲の再生方法を選ぶ

アルバムの中などに再生回数制限のある曲がまざっている場合、事前に再生するかしないかをメッセージで確認したり、制限付きの曲は再生しないようにするなどの設定をすることができます。

1 **電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「HDD」を表示させる（22ページ）。**

2 **MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「設定」を選びENTERを押す。**

3 **▲または▼を押して「再生回数制限：」を選びENTERを押す。**

4 **▲または▼を押して設定を選びENTERを押す。**

項目	設定
確認再生*	再生する/しないを確認するメッセージを表示する。
強制再生	メッセージを表示しないで再生する。
SKIP	再生しないで次の曲に移る。

* お買い上げ時の設定

並べ替えて聞く

（ソート）

録音した曲を並べ替えて、目的の曲やアルバムを聞くことができます。本機では6種類の並べ替えができます。

項目	表示される内容
Top100	今までに聞いた回数の多い順に並べ替えられた100曲。
再生タイムスタンプ順	最近聞いた順に並べ替えられた100曲。
録音順	録音した順に並べ替えられたアルバム。
アルバムタイトル順	アルバムタイトル順に並べ替えられたアルバム。
アーティスト名順	アーティスト名順に並べ替えられたアルバム。
Bottom 100*	今までに聞いた回数の少ない順に並べ替えられた100曲。

* 詳しくは「あまり聞かない曲を消す」（54ページ）をご覧ください。

曲をソートして探す（TOP100/再生タイムスタンプ順）

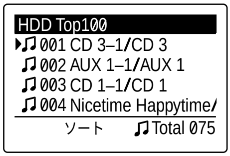
今までに聞いた回数の多い順、または最近聞いた順に並べ替えられた100曲のリストから目的の曲を探して聞くことができます。

1 電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「HDD」を表示させる（22ページ）。

2 MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲ または▼ を押して「ソート」を選びENTERを押す。

3 ▲または▼を押して「Top100」または「再生タイムスタンプ順」を選びENTERを押す。

（例）Top100リスト



リストの続きを表示するには

▲または▼を押し続けてください。

4 ▲ または▼ を押して目的の曲を選びENTERまたは▶/❚❚を押す。

選んだ曲の再生がはじまります。

リスト表示をやめるには

MENU/NOを押してください。

アルバムをソートして曲を探す（録音順・アルバムタイトル順・アーティスト名順）

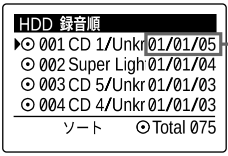
最近録音した順またはアルバムタイトル順/アーティスト名順に並べ替えられたアルバムのリストから目的の曲を探して聞くことができます。

1 **電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「HDD」を表示させる（22ページ）。**

2 **MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲ または▼ を押して「ソート」を選びENTERを押す。**

3 **▲または▼を押して「録音順」、「アルバムタイトル順」または「アーティスト名順」を選びENTERを押す。**

（例）録音順リスト

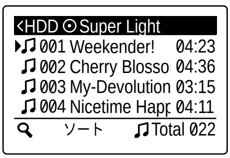


録音年月日

リストの続きを表示するには

▲または▼を押し続けてください。

4 **▲または▼を押して目的のアルバムを選び▶を押す。**



5 **▲ または▼ を押して目的の曲を選びENTERまたは▶/❚❚を押す。**

選んだ曲の再生がはじまります。

リスト表示をやめるには

MENU/NOを押してください。

手順4でENTERまたは▶/❚❚を押すと選んだアルバムの最初の曲から再生がはじまります。

聞く

好きな曲を集めて聞く

（MY SELECT）

好きな曲を選んでMY SELECTフォルダに登録しておくと、次からはMY SELECTフォルダを選ぶだけで聞くことができます。

- MY SELECTフォルダに登録されるのは曲の音楽データではなく情報データだけなので、メモリーの使用が少なくて済みます。
- 曲の情報データ*1は、登録のたびに自動的に作成されるリスト*2にまとめて登録されます。
  *1 画面では♫の後に曲名が表示されます。
  *2 画面では●の後にリスト名が表示されます。

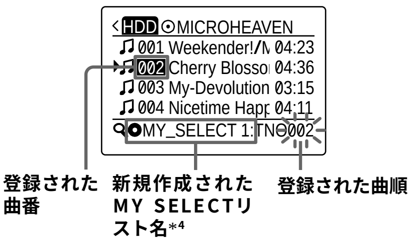
1 電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「HDD」を表示させる（22ページ）。

2 SELECTを押す。*3

*3 曲の再生（一時停止）中にSELECTを押しても、停止中と同様の操作になります。

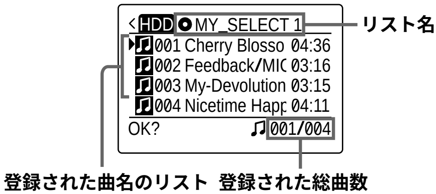
3 ◄、►、▲または▼を押して曲を選びSELECTを押す。

選んだ曲がリピート再生されます。



*4 MY SELECTリストを新規作成するたびに「MY SELECT 02、MY SELECT 03…」のように自動的にMY SELECTリスト名が付きます。

4 手順3を繰り返して曲を選び、最後にENTERを押す。



5 リストを確認してENTERを押す。

アルバム全体を1度に選ぶには

手順3でSELECTを押し続けてください。

選ぶのをやめるには、もう一度SELECTを押し続けてください。

曲を選ぶのをやめるには

手順4または5でENTERを押す前に、▲または▼を押して登録をやめる曲を選んでから、SELECTを押してください。反転表示されていた曲番が元に戻ります。

途中で登録をやめるには

MENU/NOを押してください。

登録した曲を聞くには

「曲を選んで聞く」（33ページ）の手順でMY SELECTフォルダ以外のフォルダにあるアルバムや曲を聞くのと同様に、MY SELECTフォルダ内のMY SELECTリストや曲を選んでください。

手順1の代わりに「リストに曲を追加する」の手順1～3（41ページ）を行ってから手順4で「新規作成」を選んでもMY SELECTリストの新規作成をはじめることができます。

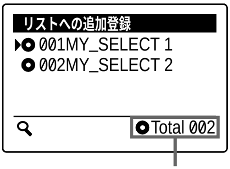
リストに曲を追加する

1 **電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「HDD」を表示させる（22ページ）。**

2 **MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。**

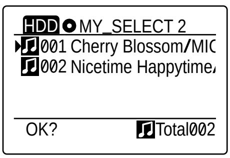
3 **▲または▼を押して「MY SELECT」を選びENTERを押す。**

4 **▲または▼を押して「リストへの追加登録」を選びENTERを押す。**

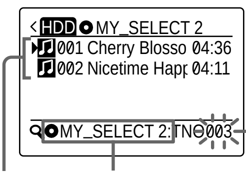


MY SELECTフォルダに登録されている総リスト数

5 **▲または▼を押して曲を追加登録するリストを選びENTERを押す。**



6 **選んだリストの内容を確認してENTERを押す。**



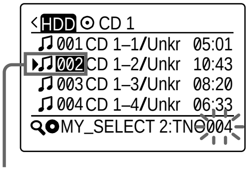
次に登録される曲順

最後に聞いていたアルバムの曲リスト

手順5で選んだ、曲を追加登録するMY SELECTリスト

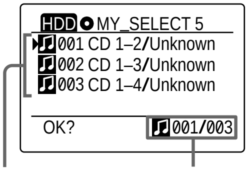
7 **◄、►、▲または▼を押して追加登録する曲を選びSELECTを押す。**

選んだ曲がリピート再生されます。



登録された曲番

8 **手順7を繰り返して曲を選び、最後にENTERを押す。**



登録された曲のリスト　登録された総曲数

9 **リストされた曲を確認してENTERを押す。**

アルバム全体を1度に選ぶには

手順7でSELECTを押し続けてください。
選ぶのをやめるには、もう一度SELECTを押し続けてください。

曲を選ぶのをやめるには

手順8または9でENTERを押す前に、▲または▼を押して登録をやめる曲を選んでから、SELECTを押してください。反転表示されていた曲番が元に戻ります。

途中で登録をやめるには

MENU/NOを押してください。

ご注意

- MY SELECTフォルダに作ることのできるMY SELECTリスト数は最大で99です。
- 1つのMY SELECTリストに登録することのできる曲数は最大で400です。

MY SELECTリスト名と曲名は変更することができます。「アルバム名や曲名、アーティスト名を変更する」（49ページ）をご覧ください。

設定した時刻に聞く

（タイマー再生）

毎日同じ時刻に、設定したソース（音源）の再生を自動的にはじめることができます。目覚ましとしてお使いいただいても便利です。アルバム単位でタイマー再生を行います。

1 **電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「HDD」を表示させる（22ページ）。**

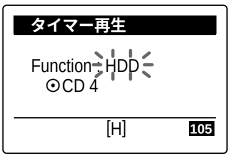
2 **MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「設定」を選びENTERを押す。**

3 **▲または▼を押して「タイマー」を選びENTERを押す。**

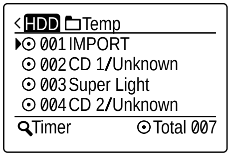
4 **▲または▼を押して「タイマー再生」を選びENTERを押す。**

5 **▲または▼を押して「タイマー設定」を選びENTERを押す。**

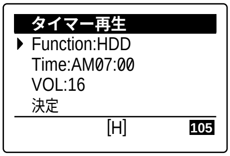
6 **▲または▼を押して「Function:」を選びENTERを押す。**



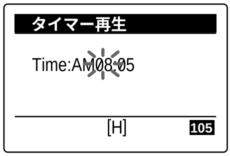
7 **▲または▼を押して「HDD」を選びENTERを押す。**



8 **◄、►、▲または▼を押してアルバム（リスト）を選びENTERを押す。**

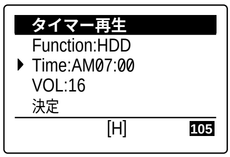


9 **▲または▼を押して「Time：」を選びENTERを押す。**

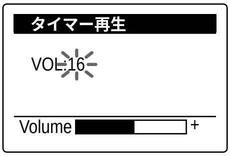


10 **▲または▼を押して「時」を合わせ►を押す。**

「分」が点滅します。同様に「分」を合わせてENTERを押します。



11 ▲または▼を押して「VOL:」を選びENTERを押す。

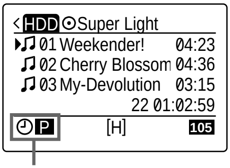


12 VOLUME ＋ または － を繰り返し押して音量を調節しENTERを押す。

本体で操作する場合は、VOLUME UPまたはDOWNを押して調整します。

タイマー再生時の音量はここで調節した音量になります。

13 ▲または▼を押して「決定」を選びENTERを押す。



タイマー再生設定表示

14 設定終了後POWERを押して電源を切る。

設定した時間にタイマー再生がはじまり、60分経つと自動的に電源が切れます。

HDD以外のソースを選ぶには

あらかじめソースの準備をしてから（18、20、60、84ページ）、手順7で「CD」、「MS」または「AUX」を選んでください。CD、MS（メモリースティック）は、全曲の演奏が終わると電源が切れます。

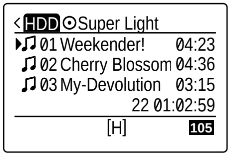
表示	タイマー再生されるソース
CD	本機のCD
MS	本機のメモリースティック
AUX	本機のAUX IN端子に接続した機器

途中で設定をやめるには

MENU/NOを押してください。

タイマーを解除するには

電源をOFFにする、または手順5で「タイマー解除」を選んでください。設定をはじめる前の表示に戻ります。



ご注意

- 設定した時刻の前には必ず電源を切っておいてください。設定した時間に電源が入っているとタイマー再生ははじまりません。
- 時計を合わせる前に手順3でENTERを押すと、「時計の設定をしてください」が表示された後、自動的に「2時計を合わせる」（16ページ）の手順4の画面に変わります。この場合、時計を合わせてからもう一度タイマー再生の手順2からはじめてください。

- タイマー再生が設定されているときは、表示窓の左下に「◷P」が表示されます。タイマー再生中は「P」が点滅します。

ご注意

タイマー再生時には、録音または編集はできません。

聞く

聞きながら眠る
（スリープ再生）

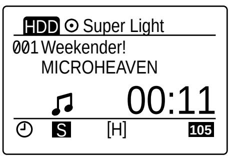
1　曲を再生または停止中にMENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「設定」を選びENTERを押す。

2　▲または▼を押して「タイマー」を選びENTERを押す。

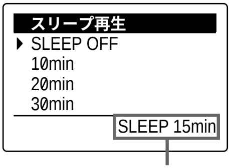
3　▲または▼を押して「スリープ再生」を選びENTERを押す。

4　▲または▼を押して「AUTO」または電源が切れるまでの時間（「10 min（分）」～「90 min」）を選びENTERを押す。

項目	設定
10 min（分） ： ： 90 min	選んだ時間が経過すると電源が切れます。
AUTO	100分を経過したとき、あるいは100分以内にHDDのフォルダ/アルバム、CDまたはメモリースティックの再生が終わったときに電源が切れます。



途中で時間設定を変えるには
手順1からやりなおしてください。手順3でENTERを押すと、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。



残り時間*

*「AUTO」に設定されているときは、「SLEEP AUTO」が表示されます。

途中で設定をやめるには
MENU/NOを押してください。

タイマーを解除するには
手順4で「SLEEP OFF」を選んでください。

リモコンで操作するには
曲を再生または停止中に、目的の項目（「AUTO」、「10 min」～「90 min」）が表示されるまでSLEEPを繰り返し押してからENTERを押してください。ENTERを押さなくても、項目を選んでから3秒経つと自動的に選んだ項目の設定になります。
すでにスリープ再生が設定されている場合、SLEEPを1回押すと電源が切れるまでの時間が表示されます。

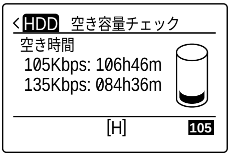
ご注意

時計を合わせる前に手順2でENTERを押すと、「時計の設定をしてください」が表示された後、自動的に「2時計を合わせる」の手順4（16ページ）の画面に変わります。この場合、時計を合わせてからもう一度スリープ再生の手順1からはじめてください。

- スリープ再生が設定されているときは、表示窓の左下に「 S 」が表示されます。設定した時刻の3分前を過ぎると「S」が点滅します。
- スリープ再生時には、録音または編集操作はできません。

HDDの残量を確認する

電源を入れて、FUNCTIONを繰り返し押し「HDD」を表示させてから、DISPLAYを繰り返し押して「空き容量チェック」画面を表示させる。



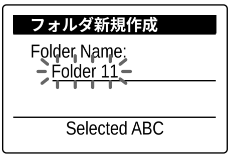
新たに録音したいときにHDDの空き容量の残量が少ない場合は、HDD内の不必要な曲を消して空き容量を増やしてから録音してください。（52ページ参照）

新しいフォルダを作る

1 **電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「HDD」を表示させる（22ページ）。**

2 **MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。**

3 **▲または▼を押して「フォルダ新規作成」を選びENTERを押す。**



4 **「フォルダ名を変更する」の手順6〜9（46ページ）の操作をしてフォルダ名を入力する。**

5 **ENTERを押してフォルダ名を確定する。**



「フォルダ一覧リスト」が数秒表示されてから、フォルダの新規作成をはじめる前の表示に戻ります。

続けてフォルダを作成するには

手順5で「フォルダ一覧リスト」が表示されている間にENTERを押し、手順4から操作を繰り返します。

途中で作成をやめるには

MENU/NOを押してください。

ご注意

HDDに作ることのできるフォルダ数は最大で99です。

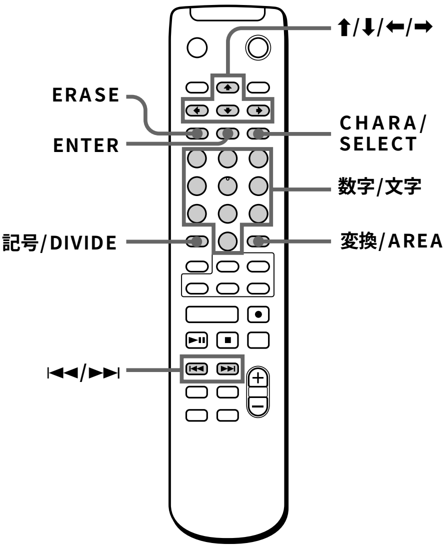
名前を変更する

（文字編集）

本機のお買い上げ時に付いているフォルダ名や、本機のアルバム情報データベースに無いCDを録音したときに自動的に付く「⦿CD10」「♫CD10-1/Unknown」などのアルバム名や曲名、アーティスト名に実際の名前を付けて、検索性の高い音楽ライブラリを作ることができます。

フォルダ名を変更する

手順6～9では付属のリモコンを使って、表示窓を確認しながら文字を入力します。



手順6～9は本体でも操作できます。

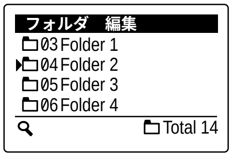
ご注意
リモコンで操作するときは、リモコンを本体のリモコン受光部（「各部のなまえ」97ページ参照）に向けてください。

1　電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「HDD」を表示させる（22ページ）。

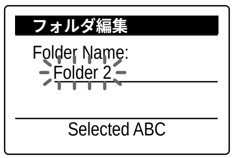
2　MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。

3　▲または▼を押して「名前編集」を選びENTERを押す。

4　▲または▼を押して「フォルダ」を選びENTERを押す。



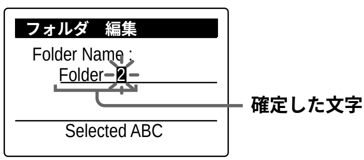
5　▲または▼を押して目的のフォルダを選びENTERを押す。



6　◄または►を繰り返し押して入力する位置を選ぶ。

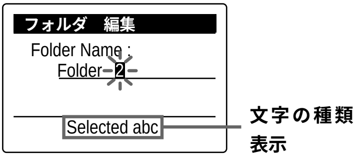
点滅している文字が入力位置になります。◄または►を押して入力位置が変わると、それまで点滅していた文字が確定されます。

（例）◄を押した場合



7 入力文字を選ぶ。

① CHARA/SELECT（SELECT）を繰り返し押して文字の種類を選ぶ。



表示	文字の種類
Selected ABC	アルファベット（大文字）
Selected abc*[1]	アルファベット（小文字）
Selected 123	数字
Selected かな	ひらがな
Selected カナ	カタカナ

*[1] 本体のSELECTでのみ選ぶことができます。

② ▲または▼あるいは数字/文字ボタン*[2]を繰り返し押して文字を選ぶ。

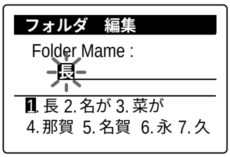
文字ブロックごとに文字を探すには

- ⏮または⏭を押すと、各数字/文字ボタンに割り当てられた文字ブロックの、最初の文字が順番に選ばれます。
  （例）ひらがなが選ばれている場合
  あ→か→さ→た→な→・・・→あ→・・・
  目的の文字ブロックを選んだら↑または↓（▲または▼）を押して文字を選びます。
- 数字/文字ボタン*[2]を繰り返し押すと、そのボタンに割り当てられた文字が順番に選ばれます。
  （例1）アルファベット（大文字）が選ばれているときに、数字/文字ボタン「2」*[2]を繰り返し押す場合
  A→B→C→a→b→c→A→・・・
  （例2）ひらがなが選ばれているときに、数字/文字ボタン「1」*[2]を繰り返し押す場合
  あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ→あ→・・・
- 記号/DIVIDE（PLAY MODE）を繰り返し押すたびに、次の記号が選ばれます。
  （濁音）→（半濁音）→（Space（空白））→！→“ →＃→＄→%→＆→‘ →（→）→*→+→,→-→.→/→:→;→<→=→>→?→@→_→'→（濁音）→・・・
  （例）「が」を入力する場合
  ひらがなが選ばれているときに、数字/文字ボタン「2」*[2]を1回押してから、記号/DIVIDE（PLAY MODE）を1回押す。

記号/DIVIDE（PLAY MODE）を押すと入力文字の候補が表示されます。この状態で◄、►、▲または▼を押しても文字を選ぶことができます。

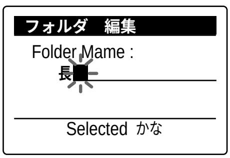
ひらがなを漢字に変換するには

① ひらがなを入力し変換/AREA（EXCHANGE）を押す。
候補の漢字が表示されます。



② 変換された文節が正しくない場合は、⏮または⏭を繰り返し押して文節の長さを変更し、変換/AREA（EXCHANGE）を押す。
変換された文節が正しい場合は、手順►に進みます。

③ 目的の漢字の候補番号を数字/文字ボタン*[2]で押して（あるいは◄、►、▲、▼、変換/AREA（EXCHANGE）を繰り返し押して候補番号を選び）ENTERを押す。
選んだ漢字が確定します。



「きごう」または「かお」と入力すると、以下の記号や顔文字に変換することができます。

「きごう」を変換した場合

、。・：；？！ゝ〃仝々〆～…（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】× ∞ ♂ ♀ ℃ ￥ ＄ 」＆＊＠☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※→←↑↓＃♪Ω

「かお」を変換した場合

(＊_＊) (+_+) (—.—) (—_—) (—_—;) (..) (._.) (;_;) (>_<) (@_@) (T_T) (^.^) (^0_0^) (^0^) (^^) (^_—) (^_^) (^_^;) (^o^) (__))^o^(>^_^< ^/^ ^^; ^_^; _(._.)_ m(__)m

文字を消すには

◄または►を繰り返し押して消したい文字を点滅させ、ERASEを押します。

ERASEを押し続けると、入力中のアルバム名またはアーティスト名の全ての文字が消えます。

- 手順5でENTERを押した後、アルバム名全体が点滅している間にERASEを押すとアルバム名全体が一度に消えます。あるいは、ERASEの代わりに文字を選ぶと（手順7参照）アルバム名全体が選んだ文字に置き換わります。
- 次の文字も以下の組み合わせで文字の種類と文字ブロックを選ぶと入力することができます。

入力する文字	文字の種類	文字ブロック（数字/文字ボタン）
ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ	ひらがな	「あ」（「1」）
っ	ひらがな	「た」（「4」）
ゃ、ゅ、ょ	ひらがな	「や」（「8」）
ー、ゎ、ゐ、ゑ	ひらがな	「わ」（「0」）
ァ、ィ、ゥ、ェ、ォ	カタカナ	「ア」（「1」）
ヵ、ヶ	カタカナ	「カ」（「2」）
ッ	カタカナ	「タ」（「4」）
ャ、ュ、ョ	カタカナ	「ヤ」（「8」）
ー、ヴ、ヮ、ヰ、ヱ	カタカナ	「ワ」（「0」）

*2 リモコンのみの操作になります。

8 ◄または►を押して文字を確定する。

9 手順6～8を繰り返し文字を入力する。

10 ENTERを押してフォルダ名を確定する。

11 MENU/NOを押して編集を終了する。

途中で変更をやめるには

MENU/NOを押してください。

- ひらがな（カタカナ、漢字）で最大15文字（英数文字で最大31文字）までの名前を付けることができます。
- 手順8で ◄または► を押す代わりに、別の数字／文字ボタンまたはENTERを押しても文字が確定されます。

アルバム名や曲名、アーティスト名を変更する

MY SELECTフォルダ以外のフォルダにあるアルバム名や曲名、アーティスト名を変更することもできます。

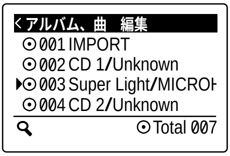
* 同様にMY SELECTフォルダにあるMY SELECTリスト名や曲名、アーティスト名も変更することができます（手順5でアルバムの代わりにMY SELECTリストを選んでください）。

1 電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「HDD」を表示させる（22ページ）。

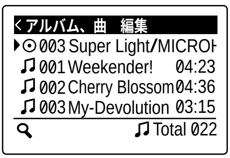
2 MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。

3 ▲または▼を押して「名前編集」を選びENTERを押す。

4 ▲または▼を押して「アルバム、曲」を選び►を押す。

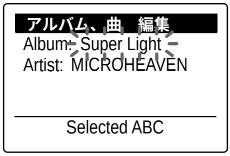


5 ▲または▼を押して目的のアルバムまたは曲名を選びENTERを押す。



6 アルバム名を確認してENTERを押す。

▲または▼を押して目的の曲を選んでからENTERを押すと曲名を変更することができます。曲名を選んだときは手順10に進んでください。



DISPLAYを繰り返し押してアルバム名またはアーティスト名を選んでください。
選ばれた名前が点滅し、文字入力ができる状態になります。

7 「フォルダ名を変更する」の手順6～9（46ページ）の操作をして文字を入力する。

8 ENTERを押してアルバム名を確定する。



9 アルバム内の全曲のアーティスト名をアルバムのアーティスト名と同じ名前に一括変更する場合、ENTERを押す。

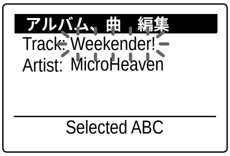
一括変更しない場合はMENU/NOを押してください。

一括変更した場合



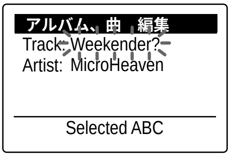
次ページへつづく

10 ▲または▼を押して目的の曲を選びENTERを押す。



11 「フォルダ名を変更する」の手順6～9（46ページ）の操作をして文字を入力する。

12 ENTERを押して曲名を確定する。



13 手順10～12を繰り返し曲名を付ける。

14 MENU/NOを押して編集を終了する。

途中で変更をやめるには

MENU/NOを押してください。

アルバム名、アーティスト名は、ひらがな（カタカナ、漢字）でそれぞれ最大127文字（英数文字で最大255文字）づつ、曲名は最大255文字（英数文字で最大511文字）までの名前を付けることができます。

ご注意

- IMPORTアルバムおよびムーブイン、インポートした曲は文字編集できません。
- ムーブイン、インポートした曲を含むアルバムは、アーティスト名の一括変換はできません。

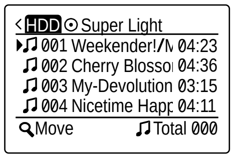
MOVE

（曲/アルバム/フォルダの順番を変える）

1 電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「HDD」を表示させる（22ページ）。

2 MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。

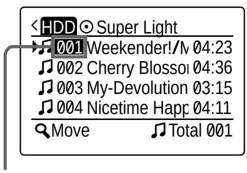
3 ▲または▼を押して「Move」を選びENTERを押す。



4 ◄、►、▲または▼を押して移動する曲（フォルダまたはアルバム）を選びSELECTを押す。

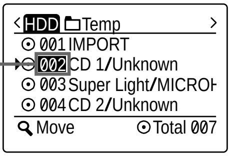
◄または►を押して移動する曲（フォルダまたはアルバム）のリストを表示してから▲または▼を押して目的の曲（フォルダまたはアルバム）を選んでください。
選んだ曲（フォルダまたはアルバム内の曲）がリピート再生されます。

曲を選んだ場合



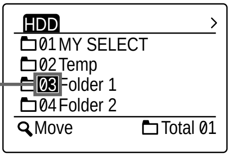
選ばれた曲番

アルバムを選んだ場合（◄を1回押してアルバムのリストを表示させます。）



選ばれたアルバム番号

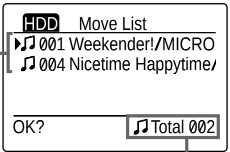
フォルダを選んだ場合：（◄を2回押してフォルダのリストを表示させます。）



選ばれたフォルダ番号

5 手順4を繰り返して移動する曲（フォルダまたはアルバム）を選び、最後にENTERを押す。

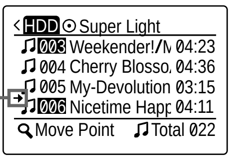
曲を選んだ場合



選ばれた曲のリスト　選ばれた総曲数

曲（フォルダまたはアルバム）を1つしか選ばなかった場合は、このリストは表示されません。

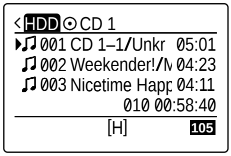
6 移動する曲（フォルダまたはアルバム）のリストを確認してENTERを押す。



移動先を示すポインタ

7 ◄、►、▲または▼を押して移動先を選びENTERを押す。

◄または►を押して移動する曲（フォルダまたはアルバム）のリスト（手順4で選んだのと同じ種類のリスト）を表示してから▲または▼を押して移動先を選んでください。



フォルダまたはアルバム全体を1度に選ぶには

手順4でアルバムまたは曲リストを表示中にSELECTを押し続けてください。

選ぶのをやめるには、もう一度SELECTを押し続けてください。

曲を選ぶのをやめるには

手順4または5でENTERを押す前に、▲または▼を押して移動をやめる曲（フォルダまたはアルバム）を選んでからSELECTを押してください。反転表示されていた曲番が元に戻ります。

途中で移動をやめるには

MENU/NOを押してください。

ご注意

- 手順5では、同時に複数のアルバムから曲を選ぶことはできません。
- TempフォルダとMY SELECTフォルダは移動できません。
- MY SELECTフォルダにあるリストや曲は、それ以外のフォルダへ移動できません。またその反対に、それ以外のフォルダにあるアルバムやトラックは、MY SELECTフォルダへ移動できません。
- 移動中は再生が自動的に停止します。
- 1つのフォルダに入れられるアルバム数は最大で200です。
- 1つのアルバムに入れられる曲数は最大で400です。
- IMPORTアルバムは、移動することができません。（インポートした曲をIMPORTアルバムから他のアルバムへ移動することはできます。）

ERASE

(不要な曲/アルバム/フォルダを消去する)

よく聞く曲や、消したくない大切な曲だけを残すことによって、本機のHDDを有効に活用することができます。

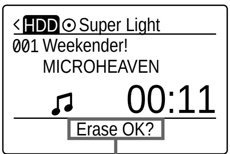
不要な曲を1つづつ選んで消去する

再生中の曲をボタン操作ひとつで簡単に消去することができます。
いくつかまとめて不要な曲を消去するときや、フォルダまたはアルバムを消去するときは「不要な曲（フォルダまたはアルバム）を選んで消去する」をご覧ください。

1 電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「HDD」を表示させる（22ページ）。

2 消去する曲を再生し、ERASEを押す。

選んだ曲がリピート再生されます。



消去確認メッセージ*

* メッセージには次の9種類があります。

消去確認メッセージ	選んだ曲の状態
Linked!	MY SELECTフォルダに登録されている曲である
Checked Out!	チェックアウトされている曲である
Linked & Checked Out!	MY SELECTフォルダに登録されて、チェックアウトされている曲である
Link Off Ok?	MY SELECTフォルダ内の曲である
Erase Ok?	消去を続けてもよいか？
Move Out Content	MOVE OUTできる曲である
Linked & Move Out Content	MY SELECTフォルダに登録されていて、MOVE OUTできる曲である
Checked Out & Move Out Content	CHECKED OUTされていて、MOVE OUTできる曲である
Linked & Checked Out & Move Out Content	MY SELECTフォルダに登録され、CHECKED OUTされていて、MOVE OUTできる曲である

3 曲を確認してからENTERを押す。

途中で消去をやめるには

MENU/NOを押してください。

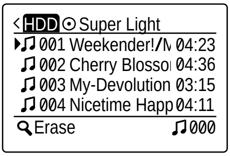
不要な曲（フォルダまたはアルバム）を選んで消去する

複数の曲（フォルダまたはアルバム）を選んで一括消去することができます。

1 電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「HDD」を表示させる（22ページ）。

2 MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。

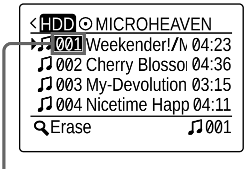
3 ▲または▼を押して「Erase」を選びENTERを押す。



4 ◄、►、▲または▼を押して消去する曲（フォルダまたはアルバム）を選びSELECTを押す。

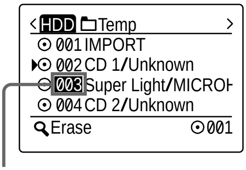
◄または►を押して消去する曲（フォルダまたはアルバム）のリストを表示してから▲または▼を押して目的の曲（フォルダまたはアルバム）を選んでください。
選んだ曲(フォルダまたはアルバム内の曲)がリピート再生されます。

曲を選んだ場合



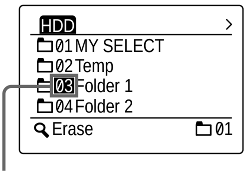
選ばれた曲番

アルバムを選んだ場合（◄を1回押してアルバムのリストを表示させます）



選ばれたアルバム番号

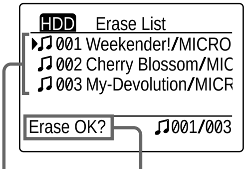
フォルダを選んだ場合（◄を2回押してフォルダのリストを表示させます）



選ばれたフォルダ番号

5 手順4を繰り返して消去する曲（フォルダまたはアルバム）を選び、最後にENTERを押す。

曲を選んだ場合



選ばれた曲のリスト　**消去確認メッセージ***

* 選択した曲リストにMOVE IN、IMPORT可能な曲が含まれる場合は、消去確認メッセージが表示されます。詳しくは「不要な曲を1つずつ選んで消去する」の手順2にある表（52ページ）をご覧ください。

6 消去する曲（フォルダまたはアルバム）のリストを確認してENTERを押す。

フォルダまたはアルバム全体を1度に選ぶには

手順4でアルバムまたは曲リストを表示中にSELECTを押し続けてください。
選ぶのをやめるには、もう一度SELECTを押し続けてください。

曲を選ぶのをやめるには

手順4または5でENTERを押す前に、▲または▼を押して曲（フォルダまたはアルバム）を選びSELECTを押してください。反転表示されていた曲番が元に戻ります。

途中で消去をやめるには

MENU/NOを押してください。

ご注意

- 手順5では、同時に複数のアルバムから曲を選ぶことはできません。
- Tempフォルダ、MY SELECTフォルダ、IMPORTフォルダにあるアルバム(68ページ参照)は消去できます。

あまり聞かない曲を消す

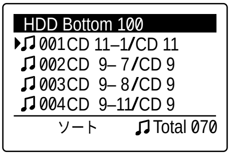
（Bottom 100）

今までに聞いた回数の少ない順に並べ替えられた100曲のリストから目的の曲を探して消すことができます。

1 電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「HDD」を表示させる（22ページ）。

2 MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲ または▼ を押して「ソート」を選びENTERを押す。

3 ▲または▼を押して「Bottom 100」を選びENTERを押す。



リストの続きを表示するには

▲または▼を押し続けてください。

4 ▲ または▼ を押して目的の曲を選びERASEを押す。

「ERASE OK?」と表示されます。

5 曲を消去する場合は、ERASEを押す。

選んだ曲が消去されます。

曲検索リスト表示をやめるには

MENU/NOを押してください。

手順4でENTERまたはまたは▶/❚❚を押すと、確認のために選んだ曲を再生することができます。

曲を1つのアルバムにまとめる

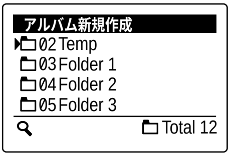
（アルバム新規作成）

1曲しか入っていないアルバムがいくつもある場合などに、それらの曲を1つのアルバムにまとめて整理することができます。この場合、新規にアルバムを作成してそこに曲を移動させる方法があります。

1　電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「HDD」を表示させる（22ページ）。

2　MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。

3　▲または▼を押して「アルバム新規作成」を選びENTERを押す。



4　▲または▼を押してアルバムを新規作成するフォルダを選びENTERを押す。

5　「フォルダ名を変更する」の手順6〜9（46ページ）の操作をしてアルバム名を入力する。

6　ENTERを押してアルバム名を確定する。



「アルバム一覧リスト」が数秒表示されてから、新規作成をはじめる前の表示に戻ります。

7　「曲/アルバム/フォルダの順番を変える」の手順で、新しく作成したアルバムに曲を移動する。

途中で作成をやめるには

MENU/NOを押してください。

ご注意

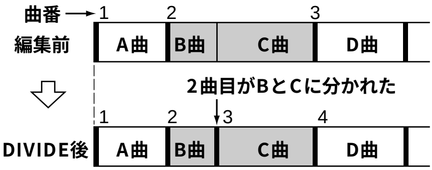
時計を合わせる前に手順2でENTERを押すと、「時計の設定をしてください」が表示された後、自動的に「2時計を合わせる」（16ページ）の手順4の画面に変わります。この場合、時計を合わせてからもう一度アルバム新規作成の手順2からはじめてください。

DIVIDE

（1つの曲を2つに分ける）

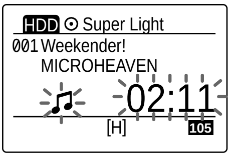
「Divide」は「分ける」という意味です。
録音したあとで曲番を付けるときに使います。
分けた曲以降の曲番は、頭から順に付け直されます。

例）　2曲目を2つに分ける



1　電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「HDD」を表示させる（22ページ）。

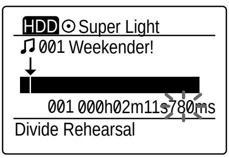
2　分けたい曲を再生中、分けたいポイント付近で▶/❚❚を押す。



3　MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。

4　▲または▼を押して「Divide」を選びENTERを押す。

手順2で設定したポイントから後ろの2秒間を繰り返し再生します。

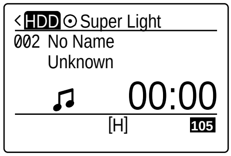


5　◀または▶を押してポイント微調整の移動単位*を選ぶ。

*「h（時）」、「m（分）」、「s（秒）」、「ms（ミリ秒）」から選ぶことができます。

6　再生を聞きながら▲または▼を押して分けるポイントを前後に微調整し、ENTERを押す。

分けた後半の曲の再生がはじまります。



途中で曲を分けるのをやめるには

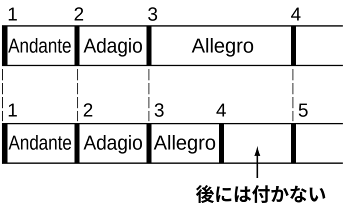
MENU/NOを押してください。

手順1～4の代わりに、分けたい曲の再生中、分けたいポイント付近でリモコンの記号/DIVIDEを押しても、DIVIDE編集をはじめることができます。

ご注意

・手順6でポイントを微調整しているあいだは再生が止まります。
・曲名を付けた（49ページ）曲をDivideして2つの曲に分けると、前の方の曲にのみ、その曲名が付きます。

例）

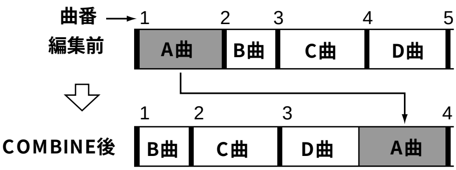


- 曲の先頭または最後では曲を分けることはできません。
- 次の曲は分けることができません。
  – チェックアウトしている曲
  – MY SELECTフォルダに登録している曲
  – 再生制限付きの曲
- 時計を合わせる前に手順4でENTERを押すと、「時計の設定をしてください」が表示された後、自動的に「2時計を合わせる」（16ページ）の手順4の画面に変わります。この場合、時計を合わせてからもう一度DIVIDEの手順2からはじめてください。
- PLAY MODEが⮌SLOTの時はDIVIDEできません。
- アルバム内の曲数が400の時は、DIVIDEできません。新規にアルバムを作成して曲を移動し、400曲以下にしてからDIVIDEを行なってください。

COMBINE

（2つの曲を1つにする）

「Combine」は、「つなぐ」という意味です。
2曲をつないで1曲にします。曲番は、頭から順に付け直されます。
不要な曲番を消すときにもCOMBINE機能を使います。
例）4曲目に1曲目を合わせる



1 **電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「HDD」を表示させる（22ページ）。**

2 **MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。**

3 **▲または▼を押して「Combine」を選びENTERを押す。**

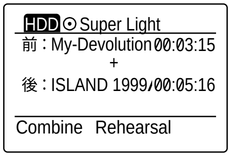


4 **◄、►、▲または▼を押してつなげたときに前半になる曲を選びSELECTを押す。**



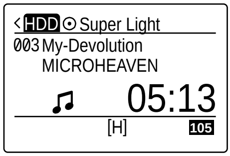
5 **◄、►、▲または▼を押してつなげたときに後半になる曲を選びSELECTを押す。**

前半になる曲の最後の2秒間と後半になる曲最初の2秒間を続けて繰り返し再生します。



6 **選んだ曲を確認してからENTERを押す。**

つながった曲の再生がはじまります。



途中で曲をつなぐのをやめるには

MENU/NOを押してください。

ご注意

- ビットレートやトラックモード（ステレオ/モノラルなど）の違う曲同士はつなぐことができません。
- 次の曲はつなぐことができません。
  - チェックアウトしている曲
  - MY SELECTフォルダに登録している曲
  - 再生制限付きの曲
- 時計を合わせる前に手順3でENTERを押すと、「時計の設定をしてください」が表示された後、自動的に「2時計を合わせる」（16ページ）の手順4の画面に変わります。この場合、時計を合わせてからもう一度COMBINEの手順2からはじめてください。
- PLAY MODEが⮌SLOTの時はCOMBINEできません。

メモリー内蔵型ポータブルオーディオ(OpenMG対応機種)で音楽を携帯して楽しむことができます。

メモリースティックについて

メモリースティックとは？

メモリースティックは、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。メモリースティック対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとしてデータの保存にもお使いいただけます。

メモリースティックの種類

メモリースティックには、著作権保護技術（MagicGate）を搭載したマジックゲート メモリースティック（以下MG メモリースティック）と、搭載していない一般のメモリースティックの2種類があります。
(詳しくは、12～13ページの「用語解説」をご覧ください。)

メモリースティックを追加してご購入の際は、またはマークのついたメモリースティックをお買い求めください。

音楽を記録するとき	音楽以外のデータをSTORE/RESTORE* するとき

* 詳しくは69－71ページをご覧ください。

ご注意
本機で対応しているMG メモリースティックの容量は128MBまでです。

MagicGate（マジックゲート）とは？

マジックゲートは、MG メモリースティックと対応機器（本機など）に搭載している著作権保護技術です。対応機器とMG メモリースティックの間でお互いが著作権保護に対応しているかどうかを判断する認証と、データの暗号化を行います。認証された機器以外では、著作権のあるデータは再生できません。

メモリースティック使用上のご注意

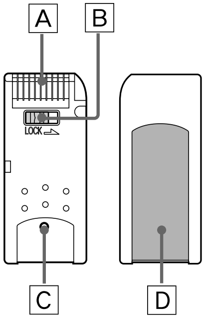
以下の場合、データが破壊されることがあります。
- 読み込み中や書き込み中にメモリースティックを抜いたり、電源をOFFにした場合。
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合。

フォーマット（初期化）についてのご注意

メモリースティックは、標準フォーマットとして専用のFATフォーマットで出荷されています。フォーマット（初期化）が必要な場合は必ず、74ページ「初期化する」の方法でフォーマットを行なってください。Windowsエクスプローラで初期化されたメモリースティックを入れると、FORMAT ERR（92ページ）になり、本機で音楽を再生できません。

この取扱説明書では、SDMIで定義された用語を使用しています。CHECK OUT（62ページ）、CHECK IN（64ページ）、MOVE IN（66ページ）、MOVE OUT（67ページ）などの用語は、12～13ページの用語解説を参照してください。

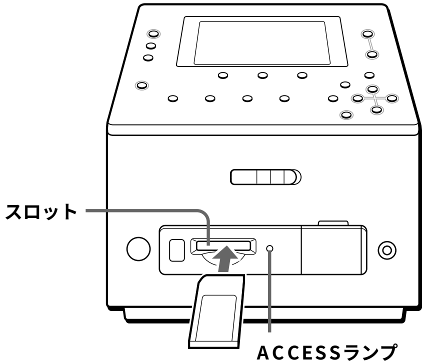
メモリースティックの取り扱いについて



- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。(B)
- MG メモリースティックには、触っただけで一般のメモリースティックとの区別ができるように裏面に突起があります。(C)
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。(D)
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部に、はみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。(A)
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

万一故障した場合は、内部を開けずに、カスタマーサポートセンター、またはお買い上げ店、パイオニアサービス窓口にご相談ください。（メモリースティックが本体に入っているときに故障した場合は、故障原因の早期解決のため、メモリースティックを入れたままご相談されることをおすすめします。）

メモリースティックを入れる／取り出す

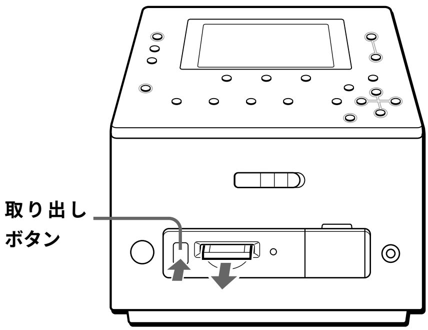


スロットにメモリースティックを挿入する。

ご注意
- お使いになるときは、メモリースティックの誤消去防止スイッチ（B）の「LOCK」を解除してください。
- メモリースティックは「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
- 本機とメモリースティックがデータ交換をしているあいだ、ACCESSランプが点灯または点滅します。データが破損しますので、この間メモリースティックを抜かないでください。

メモリースティックを取り出すには

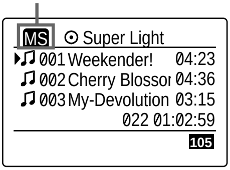
取り出しボタンを押してから、引き抜くように取り出してください。



メモリースティックの曲を聞く

1 電源を入れてからメモリースティックをセットし、FUNCTIONを繰り返し押して「MS」を表示させる。

MS表示



2 ▶/❚❚を押して再生をはじめる。

再生時には次の操作を行うことができます。

こんなときは	操作
再生を一時停止する	再生中に▶/❚❚を押す。
再生を止める	再生中に■を押す。
倍速で再生する	再生中に▶/❚❚を2秒以上押す（表示窓に「×2」が表示されます）。
曲を選ぶ（進む）	再生（一時停止）または停止中に▶▶❙を押す。
曲を選ぶ（戻る）	再生（一時停止）または停止中に❙◀◀を押す。
曲の聞きたい部分を探す（進む）	再生（一時停止）中に▶▶❙を押し続ける（表示窓に「▶▶」が表示されます）。 しばらく押し続けると進むスピードが速くなります（表示窓に「▶▶▶」が表示されます）。
曲の聞きたい部分を探す（戻る）	再生（一時停止）中に❙◀◀を押し続ける（表示窓に「◀◀」が表示されます）。 しばらく押し続けると戻るスピードが速くなります（表示窓に「◀◀◀」が表示されます）。
全曲を繰り返し聞く	再生（一時停止）または停止中にPLAY MODEを繰り返し押して「⊂⊃」を表示させる。
選んだ1曲を繰り返し聞く	再生（一時停止）または停止中にPLAY MODEを繰り返し押して「⊂⊃1」を表示させる。
全曲を順不同に聞く	再生（一時停止）または停止中にPLAY MODEを繰り返し押して「⊂⊃RANDOM」を表示させる。

💡

- 停止中に▲または▼を押して曲を選んでから▶/❚❚またはENTERを押して再生をはじめることもできます。
- 本機で再生できるビットレートは以下の通りです。
  ステレオ： 176Kbps、146Kbps、132Kbps、105Kbps、94Kbps、66Kbps
  モノラル： 47Kbps、33Kbps

ご注意

次の曲は再生できません
— 再生回数制限のある曲
— 再生時限の過ぎた曲
— 本機の時計が設定されていない状態に限り、再生時限のある曲

曲の付加情報を確認する

次の手順で、著作権保護技術（MagicGate）に関連したCHECK OUT/IN、MOVE OUT/IN、IMPORTなどの操作が可能かどうかを確認することができます。制限事項など詳しくは「用語解説」（13ページ）をご覧ください。

CHECK OUT/INとは
—本機とメモリースティックの間で音楽データの転送を行います。

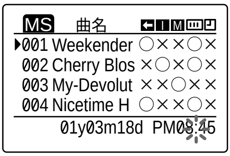
MOVE OUT/INとは
—MOVE OUT/IN可能な曲に限り、本機とメモリースティックの間で音楽データの移動を行います。

IMPORTとは
—IMPORT可能な曲を本機に取り込みます。

1 電源を入れてからメモリースティックをセットし、FUNCTIONを繰り返し押して「MS」を表示させる（60ページ）。

2 次の表示（曲の付加情報）が出るまでDISPLAYを繰り返し押す。

停止中に表示される曲の付加情報



各アイコンの意味は次の通りです。

アイコン	意味
←	CHECK INの可/不可（○/×）
I	IMPORTの可/不可（○/×）
M	MOVE INの可/不可（○/×）
（再生回数アイコン）	再生回数制限の有/無（○/×）
（再生時間アイコン）	再生時限の有/無（○/×）

停止中にDISPLAYを押すと

押すたびに次のように表示が切り換わります。

曲番/曲名/アーティスト名/曲の再生時間と総曲数/総再生時間（時：分：秒）
↓
曲番/曲名/アーティスト名
↓
メモリースティックの空き時間
↓
曲の付加情報/カレンダー（年/月/日）/時計*1
↓（最初に戻る）

*1 時計を合わせていないときは「00y00m00d AM12:00」が点滅します。

再生（一時停止）中にDISPLAYを繰り返し押すと

押すたびに次のように表示が切り換わります。

曲番/曲名/アーティスト名/曲の再生経過時間
↓
曲番/曲名/アーティスト名/曲の残り時間
↓
曲の付加情報*2
↓
曲番/曲名/アーティスト名/曲の再生時間
↓
グラフィック表示
↓（最初に戻る）

*2 各アイコンの意味は次の通りです。

アイコン	意味
←	CHECK INの可/不可（○/×）
I	IMPORTの可/不可（○/×）
M	MOVE INの可/不可（○/×）
（再生回数アイコン）	再生回数制限の残り回数（数字）
（再生時間アイコン）	再生時限（年月日時分）

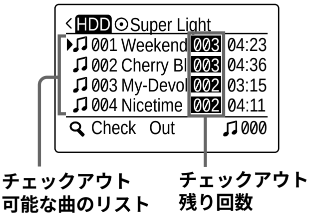
CHECK OUT

（HDDからメモリースティックに音楽を転送）

1　電源を入れてからメモリースティックをセットし、FUNCTIONを繰り返し押して「MS」を表示させる（60ページ）。

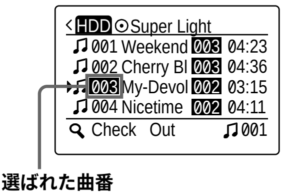
2　MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。

3　▲または▼を押して「Check Out」を選びENTERを押す。

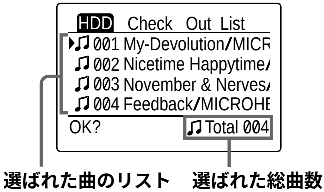


4　◄、►、▲または▼を押してチェックアウトする曲を選びSELECTを押す。

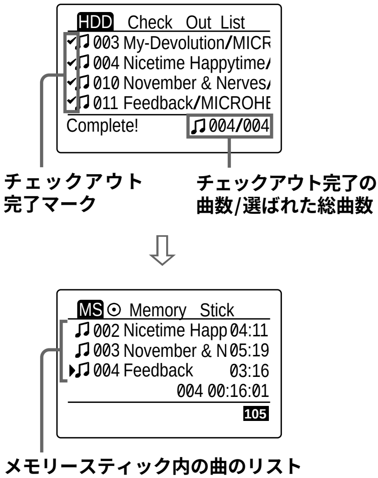
選んだ曲がリピート再生されます。



5　手順4を繰り返して曲を選び、最後にENTERを押す。



6　リストを確認してからENTERを押す。



リストにある全ての曲を1度に選ぶには

手順4でSELECTを押し続けてください。
選ぶのをやめるには、もう一度SELECTを押し続けてください。

曲を選ぶのをやめるには

手順5または6でENTERを押す前に、▲または▼を押してチェックアウトをやめる曲を選び、SELECTを押してください。反転表示されていた曲番が元に戻ります。

途中でチェックアウトをやめるには

MENU/NOまたは■を押してください。

- メモリースティックには最大で400曲をチェックアウトできます。
- 1つのメモリースティックに同じ曲を複数回チェックアウトできます。

ご注意

- CHECK OUTが無制限の曲の場合、残り回数は「254」と表示されます。
- メモリースティックの容量あるいは最大収容曲数（400 曲）を超えてチェックアウトすることができません。
- 手順3で表示されるリストには、チェックアウト可能な曲のみ表示されます。
  なお、次の曲はチェックアウトできません。
  — チェックアウトの残り回数が「0」の曲
  — 再生時限の過ぎた曲
  — 本機の時計が設定されていない状態に限り、再生時限のある曲
- 手順5でENTERを押す前に他のアルバムの選択画面にすると、選んだ曲は全て解除されます。
- CDから録音した曲は3回までチェックアウトが可能です。
- チェックアウトした曲は、必ずチェックインで戻すようにしてください。
  外部機器を使用してメモリースティック側で曲を消去すると、チェックアウト可能回数が回復されずに、それ以降のチェックアウトできる回数が減少します。

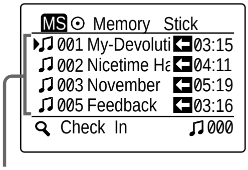
CHECK IN

(メモリースティックからHDDに音楽を戻す)

1 **電源を入れてからメモリースティックをセットし、FUNCTIONを繰り返し押して「MS」を表示させる（60ページ）。**

2 **MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。**

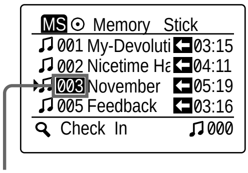
3 **▲または▼を押して「Check In」を選びENTERを押す。**



チェックイン可能な曲のリスト

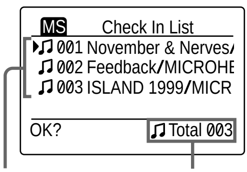
4 **▲または▼を押してチェックインする曲を選びSELECTを押す。**

選んだ曲がリピート再生されます。



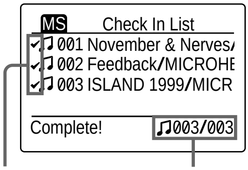
選ばれた曲番

5 **手順4を繰り返し、選び終えたらENTERを押す。**

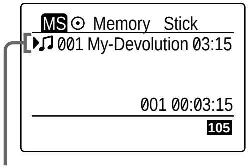


選ばれた曲のリスト　選ばれた総曲数

6 **リストを確認してからENTERを押す。**



チェックイン完了マーク　チェックイン完了の曲数/選ばれた総曲数



メモリースティック内の曲のリスト

リストにある全ての曲を1度に選ぶには

手順4でSELECTを押し続けてください。

選ぶのをやめるには、もう一度SELECTを押し続けてください。

曲を選ぶのをやめるには

手順5または6でENTERを押す前に、▲または▼を押してチェックインをやめる曲を選び、SELECTを押してください。反転表示されていた曲番が元に戻ります。

途中でチェックインをやめるには

MENU/NOまたは■を押してください。

メモリースティック内のデータが消去されますので、残量が増えます。

ご注意

手順3で表示されるリストには、チェックイン可能な曲のみ表示されます。

本機でチェックアウトしたデータ以外のチェックインはできません。

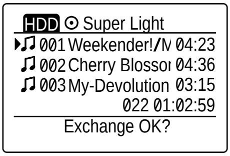
EXCHANGE

（CHECK INとCHECK OUTを連続して行う）

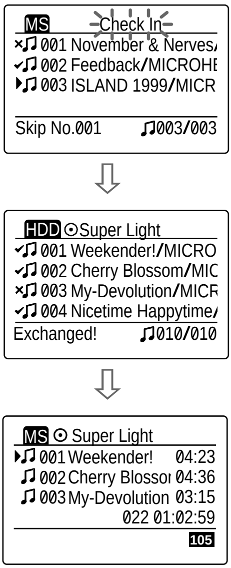
メモリースティックの曲のチェックインと、最後に聞いたHDDのアルバムの曲のチェックアウトを自動的に連続して行うことができます。

1 **電源を入れてからメモリースティックをセットし、FUNCTIONを繰り返し押して「HDD」、「MS」または「P.L」を表示させる（22、60ページ）。**

2 **EXCHANGEを押す。**



3 **ENTERを押す。**



メモリースティックには最大で合計400曲をチェックアウトできます。

ご注意

- エクスチェンジの前には、必ず■を押して録音を止める、あるいはMENU/NOを押してメニュー表示を消してください。
- メモリースティックの容量あるいは最大収容曲数（400曲）を超えてチェックアウトすることができません。
- 本機にメモリー内蔵型ポータブルオーディオ(OpenMG対応機種)が接続され、同時にメモリースティックも挿入されている場合は、メモリー内蔵型ポータブルオーディオ(OpenMG対応機種)との間でエクスチェンジが優先されます。
- 次の曲はエクスチェンジが行われません。（リストの曲番に「×」マークが付き、次の曲に移ります。）
  — 本機以外の機器からチェックアウトされた曲
  — チェックアウトの残り回数が「0」の曲
  — 再生時限の過ぎた曲

MOVE IN

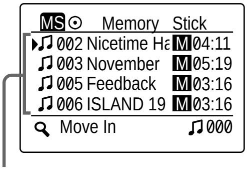
（メモリースティックからHDDに音楽を移動）

ムーブイン可能な曲をメモリースティックから本機のTempフォルダにあるIMPORTアルバムに取り込むことができます。

1 **電源を入れてからメモリースティックをセットし、FUNCTIONを繰り返し押して「MS」を表示させる（60ページ）。**

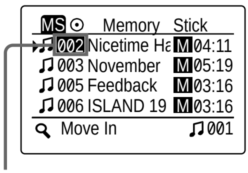
2 **MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。**

3 **▲または▼を押して「Move In」を選びENTERを押す。**



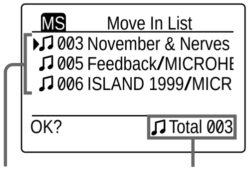
ムーブイン可能な曲のリスト

4 **▲または▼を押して取り込む曲を選びSELECTを押す。**



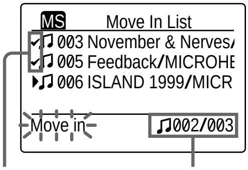
選ばれた曲番

5 **手順4を繰り返し、選び終えたらENTERを押す。**

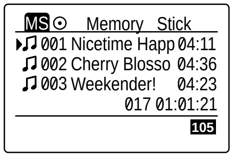


選ばれた曲のリスト　選ばれた総曲数

6 **リストを確認してからENTERを押す。**



ムーブイン完了マーク　ムーブイン完了の曲数/選ばれた総曲数



メモリースティック内の曲のリスト

リストにある全ての曲を1度に選ぶには

手順4でSELECTを押し続けてください。

選ぶのをやめるには、もう一度SELECTを押し続けてください。

途中でムーブインをやめるには

MENU/NOまたは■を押してください。

メモリー内蔵型ポータブルオーディオ(OpenMG対応機種)にはムーブイン/アウトすることはできません。

MOVE OUT

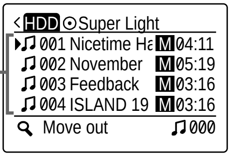
（HDDからメモリースティックに音楽を移動）

ムーブアウト可能な曲を本機からメモリースティックに取り出すことができます。

1　電源を入れてからメモリースティックをセットし、FUNCTIONを繰り返し押して「MS」を表示させる（60ページ）。

2　MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。

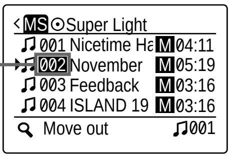
3　▲または▼を押して「Move out」を選びENTERを押す。



ムーブアウト可能な曲のリスト

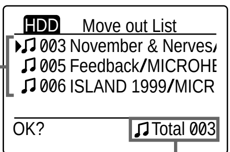
4　◄、►、▲または▼を押してムーブアウトする曲を選びSELECTを押す。

選んだ曲がリピート再生されます。



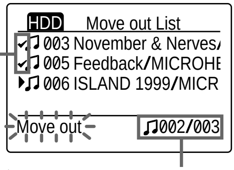
選ばれた曲番

5　手順4を繰り返して曲を選び、最後にENTERを押す。



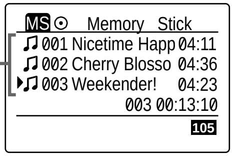
選ばれた曲のリスト　選ばれた総曲数

6　リストを確認してからENTERを押す。



ムーブアウト完了マーク　ムーブアウト完了の曲数/選ばれた総曲数

⇩



メモリースティック内の曲のリスト

リストにある全ての曲を1度に選ぶには

手順4でSELECTを押し続けてください。

選ぶのをやめるには、もう一度SELECTを押し続けてください。

曲を選ぶのをやめるには

手順5または6でENTERを押す前に、▲または▼を押してムーブアウトをやめる曲を選び、SELECTを押してください。反転表示されていた曲番が元に戻ります。

途中でムーブアウトをやめるには

MENU/NOまたは■を押してください。

メモリースティックには最大で400曲をムーブアウトできます。

ご注意

- メモリースティックの容量あるいは最大収容曲数（400曲）を超えてムーブアウトすることができません。
- 手順3で表示されるリストには、ムーブアウト可能な曲のみ表示されます。
- 手順5でENTERを押す前に他のアルバムの選択画面にすると、選んだ曲は全て解除されます。

IMPORT

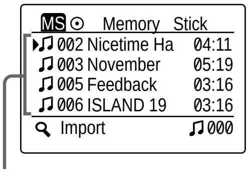
（IMPORT可能な曲を取り込む）

メモリースティックから本機のTempフォルダにあるIMPORTアルバムにデータを取り込むことができます。

1 電源を入れてからメモリースティックをセットし、FUNCTIONを繰り返し押して「MS」を表示させる（60ページ）。

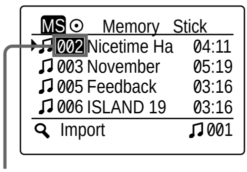
2 MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。

3 ▲または▼を押して「Import」を選びENTERを押す。



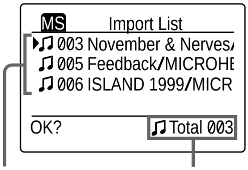
インポート可能な曲のリスト

4 ▲または▼を押してインポートする曲を選びSELECTを押す。



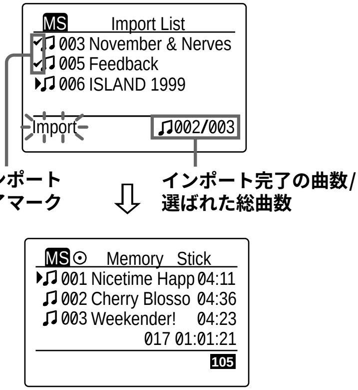
選ばれた曲番

5 手順4を繰り返し、選び終えたらENTERを押す。



選ばれた曲のリスト　選ばれた総曲数

6 リストを確認してからENTERを押す。



メモリースティック内の曲のリスト

メモリースティック全体を1度に選ぶには

手順4でSELECTを押し続けてください。

選ぶのをやめるには、もう一度SELECTを押し続けてください。

途中でインポートをやめるには

MENU/NOまたは■を押してください。

ご注意

インポートした曲はチェックアウト以外の方法でメモリースティックやメモリー内蔵型ポータブルオーディオ(OpenMG対応機種)に取り出すことはできません。

STORE

（MGメモリースティックまたはメモリースティック内の音楽以外のデータをHDDに一時保管する）

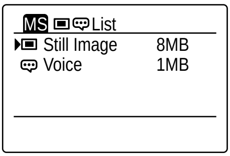
MGメモリースティックまたはメモリースティック内のデジタルカメラの画像データやICレコーダーの音声データを一括してHDDに一時保管できます。リストア機能でデータをメモリースティックに戻すこともできます。またデータの名前を変更することもできます。

ご注意
- ストアしたデータを本機で再生することはできません。
- パソコンを経由したメモリースティック内のデータは、リストアできないことがあります。
- メモリースティックの再生中は、ストアすることはできません。

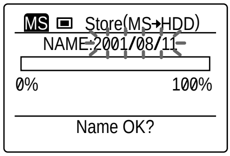
1 **電源を入れてからメモリースティックをセットし、FUNCTIONを繰り返し押して「MS」を表示させる（60ページ）。**

2 **MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。**

3 **▲または▼を押して「Store（MS→HDD)」を選びENTERを押す。**



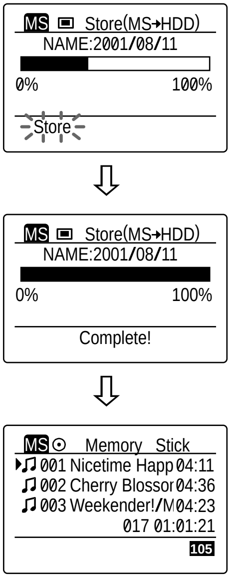
4 **▲または▼を押してストアするデータの種類（「Still Image（画像データ)」または「Voice（音声データ)」）を選びENTERを押す。**



データ名を変更しない場合は手順6へ進んでください。

5 **MENU/NOを押してから、「フォルダ名を変更する」の手順6〜9（46ページ）の操作をして名前を入力する。**

6 **ENTERを押してデータ名を確定する。**



次ページへつづく

ストアしたデータを確認するには

「RESTORE」の手順1～3の操作で表示されるリスト、または「メモリースティックからHDDに一時保管（STORE）したデータを消去する」の手順1～3（71ページ）の操作*で表示されるリストで確認することができます。

＊ この場合は、手順1でメモリースティックをセットしなくても確認することができます。

- 本機には最大で99個までデータをストアすることができます。
- ストアしたデータ名は、手順5で変更しない限り自動的にストアした年月日（例：2001/2/28 12:00）になります。
- データ名は、ひらがな（カタカナ、漢字）で最大15文字（英数文字で最大31文字）までの名前を付けることができます。

ご注意

- 音楽データをストアすることはできません。
- 時計を合わせる前に手順3でENTERを押すと、「時計の設定をしてください」が表示された後、自動的に「2時計を合わせる」（16ページ）の手順4の画面に変わります。この場合、時計を合わせてからもう一度STOREの手順2からはじめてください。

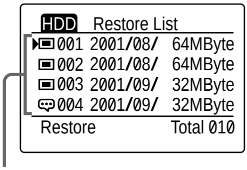
RESTORE

（一時保管した音楽以外のデータをメモリースティックに戻す）

1 **電源を入れてからメモリースティックをセットし、FUNCTIONを繰り返し押して「MS」を表示させる（60ページ）。**

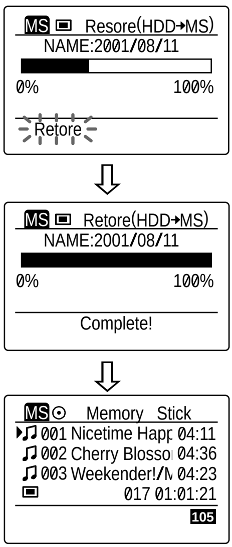
2 **MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。**

3 **▲または▼を押して「Restore（HDD→MS）」を選びENTERを押す。**



ストアしたデータのリスト

4 **▲または▼を押して目的のデータを選びENTERを押す。**



ご注意

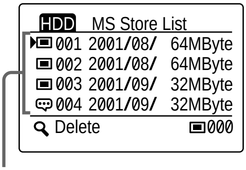
- すでにメモリースティック内に同じ種類のデータがあるときは、リストアすることはできません。
- メモリースティックの再生中は、リストアすることはできません。

メモリースティックからHDDに一時保管（STORE）したデータを消去する

1 電源を入れてからメモリースティックをセットし、FUNCTIONを繰り返し押して「HDD」を表示させる（22ページ）。

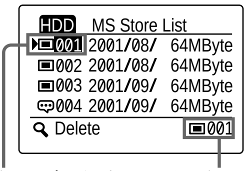
2 MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。

3 ▲または▼を押して「MSデータ消去」を選びENTERを押す。



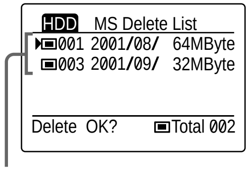
一時保管されたデータのリスト

4 ▲または▼を押して消去するデータを選びSELECTを押す。



選ばれたデータ番号　選ばれた総データ数

5 手順4を繰り返しデータを選びENTERを押す。



選ばれたデータのリスト

6 リストを確認してからENTERを押す。

リストにある全てのデータを1度に選ぶには

手順4でSELECTを押し続けてください。

選ぶのをやめるには、もう一度SELECTを押し続けてください。

曲を選ぶのをやめるには

手順5または6でENTERを押す前に、▲または▼を押してデータを選びSELECTを押してください。反転表示されていたデータ番号が元に戻ります。

途中で消去をやめるには

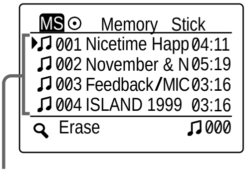
MENU/NOを押してください。

曲を消去する

1 **電源を入れてからメモリースティックをセットし、FUNCTIONを繰り返し押して「MS」を表示させる（60ページ）。**

2 **MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。**

3 **▲または▼を押して「Erase」を選びENTERを押す。**



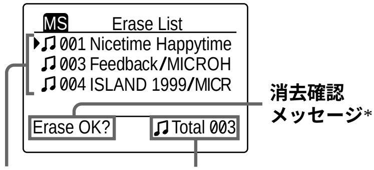
メモリースティックの曲のリスト

4 **▲または▼を押して削除する曲を選びSELECTを押す。**



選ばれた曲番

5 **手順4を繰り返し、選び終えたらENTERを押す。**



選ばれた曲のリスト　選ばれた総曲数

＊曲リストの中にMOVEまたはIMPORTされた曲が含まれていた場合は、「Import & Move Content Erase OK?」が表示されます。

6 **リストを確認してからENTERを押す。**

曲を選ぶのをやめるには

手順5または6でENTERを押す前に、▲または▼を押して削除をやめる曲を選び、SELECTを押してください。反転表示されていた曲番が元に戻ります。

途中で削除をやめるには

MENU/NOまたは■を押してください。

- 「不要な曲を1つづつ選んで消去する」（52ページ）と同じ操作でメモリースティックの曲を削除することもできます。その際、ファンクションは「MS」を選んでおいてください。
- 次の表のメッセージが表示された場合は、曲を確認してからENTERを押してください。

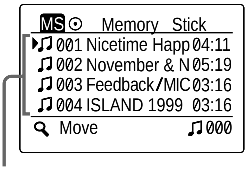
消去確認メッセージ	選んだ曲の状態
MOVE IN CONTENT	MOVE INできる曲である
IMPORT CONTENT	IMPORTできる曲である

曲順を変える

1 **電源を入れてからメモリースティックをセットし、FUNCTIONを繰り返し押して「MS」を表示させる****（60ページ）****。**

2 **MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。**

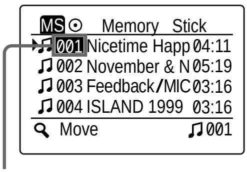
3 **▲または▼を押して「Move」を選びENTERを押す。**



メモリースティックの曲のリスト

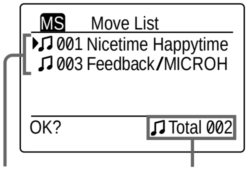
4 **▲または▼を押して移動する曲を選びSELECTを押す。**

選んだ曲がリピート再生されます。



選ばれた曲番

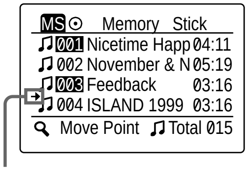
5 **手順4を繰り返し、選び終えたらENTERを押す。**



選ばれた曲のリスト　選ばれた総曲数

1曲しか選ばなかった場合は、このリストは表示されません。

6 **移動する曲のリストを確認してからENTERを押す。**



移動先を示すポインタ

7 **▲または▼を押して移動先を選びENTERを押す。**

リストにある全ての曲を1度に選ぶには

手順4でSELECTを押し続けてください。
選ぶのをやめるには、もう一度SELECTを押し続けてください。

曲を選ぶのをやめるには

手順5または6でENTERを押す前に、▲または▼を押して移動をやめる曲を選び、SELECTを押してください。反転表示されていた曲番が元に戻ります。

途中で移動をやめるには

MENU/NOを押してください。

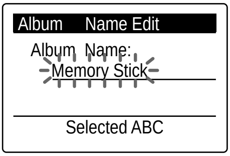
名前を付ける

メモリースティック内のアルバムに名前を付けることができます。

1　電源を入れてからメモリースティックをセットし、FUNCTIONを繰り返し押して「MS」を表示させる（60ページ）。

2　MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。

3　▲または▼を押して「Album Name Edit」を選びENTERを押す。



4　「フォルダ名を変更する」の手順6～9（46ページ）の操作をして名前を入力する。

5　ENTERを押して名前を確定する。

途中で名前を付けるのをやめるには

MENU/NOを押してください。

ひらがな（カタカナ、漢字）で最大255文字（英数字で最大511文字）までの名前を付けることができます。

ご注意

メモリースティックに曲が入っていないときは、名前を付けることができない場合があります。

初期化する

（フォーマット）

スロットに挿入したメモリースティックを本機が読みとれない場合「STICK ERROR」が表示されます。

本機で読みとれるメモリースティックを初期化する

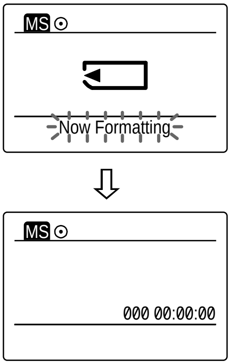
1　電源を入れてからメモリースティックをセットし、FUNCTIONを繰り返し押して「MS」を表示させる（60ページ）。

2　MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。

3　▲または▼を押して「Format」を選びENTERを押す。

4　ENTERを押す。

フォーマットがはじまります。

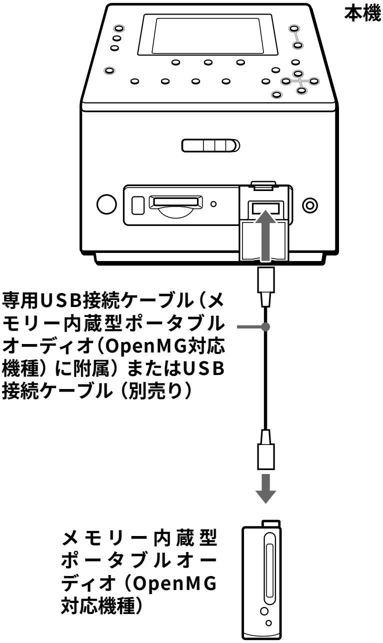


ご注意

フォーマット中を含め、メモリースティックにアクセスしているときには、メモリースティックを抜かないでください。

メモリー内蔵型ポータブルオーディオをつなぐ

メモリー内蔵型ポータブルオーディオ（OpenMG対応機種）に曲を転送することで、音楽を携帯して楽しむことができます。
専用USB接続ケーブルを使って接続します。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



ご注意

- メモリー内蔵型ポータブルオーディオは、OpenMG対応機種以外は使用できません。
  該当機種については、カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
- USB延長ケーブルをご使用の場合の動作の保証はいたしかねます。
- 本機に接続したメモリー内蔵型ポータブルオーディオ（OpenMG対応機種）を操作することはできません。
- CHECK OUT, CHECK IN, EXCHANGE操作の途中で、専用USB接続ケーブルを抜かないでください。転送中のデータが破損することがあります。

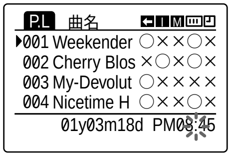
曲の付加情報を確認する

次の手順で、著作権保護技術（MagicGate）に関連したCHECK IN/OUTなどの操作が可能かどうかを確認することができます。

1 **電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「P.L」を表示させる。**

2 **停止中に次の表示（曲の付加情報）が出るまでDISPLAYを繰り返し押す。**

停止中に表示される曲の付加情報



各アイコンの意味は次の通りです。

アイコン	意味
←	チェックインの可/不可（○/×）
I	インポートの可/不可（○/×）
M	ムーブの可/不可（○/×）
	再生回数制限の有/無（○/×）
	再生時限の有/無（○/×）

停止中にDISPLAYを押すと

押すたびに次のように表示が切り換わります。

曲番/曲名/アーティスト名/曲の再生時間と総曲数/総再生時間（時：分：秒）
↓
曲番/曲名/アーティスト名
↓
HDDの空き時間
↓
曲の付加情報

CHECK OUT

（HDDからメモリー内蔵型ポータブルオーディオに音楽を転送）

1 電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「P.L」を表示させる。

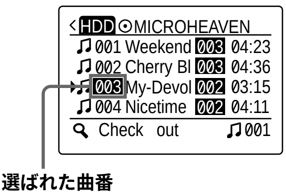
2 MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。

3 ▲または▼を押して「Check out」を選びENTERを押す。

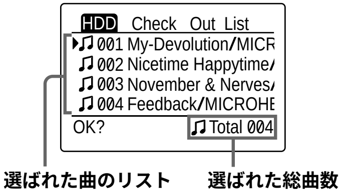


4 ◄、►、▲または▼を押してチェックアウトする曲を選びSELECTを押す。

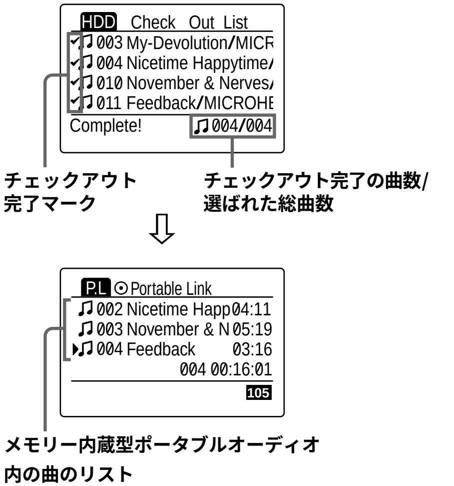
選んだ曲がリピート再生されます。



5 手順4を繰り返してチェックアウトする曲を選び、最後にENTERを押す。



6 リストを確認してからENTERを押す。



リストにある全ての曲を1度に選ぶには

手順4でSELECTを押し続けてください。
選ぶのをやめるには、もう一度SELECTを押し続けてください。

曲を選ぶのをやめるには

手順5または6でENTERを押す前に、▲または▼を押してチェックアウトをやめる曲を選び、SELECTを押してください。反転表示されていた曲番が元に戻ります。

途中でチェックアウトをやめるには

MENU/NOまたは■を押してください。

ご注意

- 1つのメモリー内蔵型ポータブルオーディオ（OpenMG対応機種）に同じ曲を複数回チェックアウトすることはできますが、チェックインは同時に行なってください。同じ曲はチェックインするときに同時に選択されます。
- メモリー内蔵型ポータブルオーディオ（OpenMG対応機種）の容量あるいは最大収容曲数を超えてチェックアウトすることができません。
- メモリー内蔵型ポータブルオーディオ（OpenMG対応機種）に対しては、MOVE IN/OUT、IMPORTの操作はできません。
- 手順3で表示されるリストには、チェックアウト可能な曲のみ表示されます。なお、次の曲はチェックアウトできません（リストの曲番に「×」マークが付き、次の曲に移ります）。
  — チェックアウトの残り回数が「0」の曲
  — 接続されているメモリー内蔵型ポータブルオーディオ（OpenMG対応機種）で再生できない曲
- 手順5では、同時に複数のアルバムから曲を選ぶことはできません。
- 時計を合わせる前に手順3でENTERを押すと、「時計の設定をしてください」が表示された後、自動的に「2．時計を合わせる」（16ページ）の手順4の画面に変わります。この場合、時計を合わせてからもう一度CHECK OUTの手順2からはじめてください。

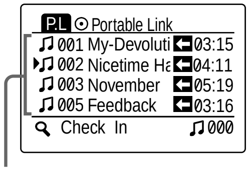
CHECK IN

（メモリー内蔵型ポータブルオーディオからHDDに音楽を戻す）

1 **電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「P.L」を表示させる。**

2 **MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。**

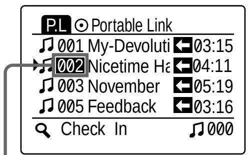
3 **▲または▼を押して「Check in」を選びENTERを押す。**



チェックイン可能な曲のリスト

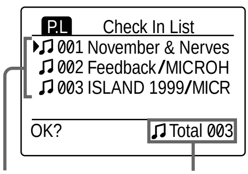
4 **▲または▼を押してチェックインする曲を選びSELECTを押す。**

選んだ曲がリピート再生されます。



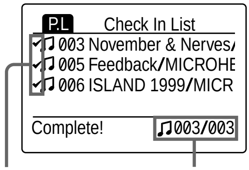
選ばれた曲番

5 **手順4を繰り返し、選び終えたらENTERを押す。**

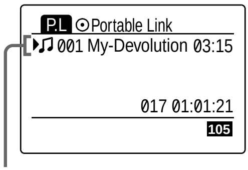


選ばれた曲のリスト　選ばれた総曲数

6 **リストを確認してからENTERを押す。**



チェックイン完了マーク　チェックイン完了の曲数/選ばれた総曲数



メモリー内蔵型ポータブルオーディオ（OpenMG対応機種）内の曲のリスト

リストにある全ての曲を1度に選ぶには

手順4でSELECTを押し続けてください。
選ぶのをやめるには、もう一度SELECTを押し続けてください。

曲を選ぶのをやめるには

手順5または6でENTERを押す前に、▲または▼を押してチェックインをやめる曲を選び、SELECTを押してください。反転表示されていた曲番が元に戻ります。

途中でチェックインをやめるには

MENU/NOまたは■を押してください。

ご注意

手順3で表示されるリストには、チェックイン可能な曲のみ表示されます。下記の曲はチェックインできません。

- 本機以外の機器でチェックアウトした曲
- メモリー内蔵型ポータブルオーディオ（OpenMG対応機種）にチェックアウト以外で取り込まれた曲（ネットワーク配信などで購入した曲、ムーブアウトした曲など）

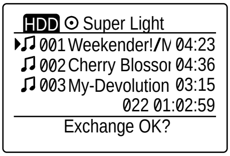
EXCHANGE

（CHECK INとCHECK OUTを連続して行う）

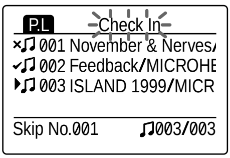
メモリー内蔵型ポータブルオーディオ（OpenMG対応機種）の曲のチェックインと、最後に聞いたHDDのアルバムの曲のチェックアウトを自動的に連続して行うことができます。

1　電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「HDD」、「MS」または「P.L」を表示させる。

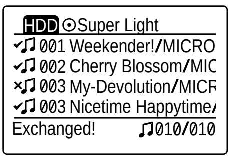
2　EXCHANGEを押す。



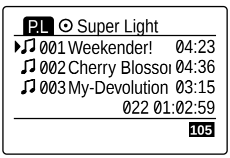
3　ENTERを押す。



⇩



⇩



ご注意

- エクスチェンジの前には、必ず■を押して録音を止める、あるいはMENU/NOを押してメニュー表示を消してください。
- メモリー内蔵型ポータブルオーディオ（OpenMG対応機種）の容量あるいは最大収容曲数を超えてチェックアウトすることができません。
- 本機にメモリー内蔵型ポータブルオーディオ（OpenMG対応機種）が接続され、同時にメモリースティックも挿入されている場合、メモリー内蔵型ポータブルオーディオ（OpenMG対応機種）との間でエクスチェンジが優先されます。
- 次の曲はエクスチェンジが行われません。（リストの曲番に「×」マークが付き、次の曲に移ります。）
  — 本機以外の機器からチェックアウトされた曲
  — チェックアウトの残り回数が「0」の曲
  — 再生時限の過ぎた曲
- 再生制限付きの曲はメモリー内蔵型ポータブルオーディオ（OpenMG対応機種）にはチェックアウトできない場合があります。

途中でエクスチェンジを止めるには

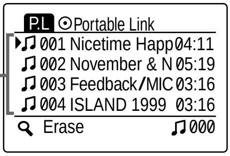
MENU/NOまたは■を押してください。

曲を消去する

1 電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「P.L」を表示させる。

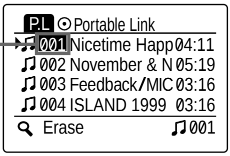
2 MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。

3 ▲または▼を押して「Erase」を選びENTERを押す。



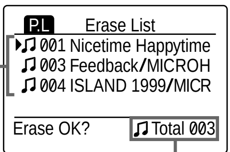
メモリー内蔵型ポータブルオーディオの曲のリスト

4 ▲または▼を押して削除する曲を選びSELECTを押す。



選ばれた曲番

5 手順4を繰り返し、選び終えたらENTERを押す。



選ばれた曲のリスト　選ばれた総曲数

6 リストを確認してからENTERを押す。

曲を選ぶのをやめるには

手順5または6でENTERを押す前に、▲または▼を押して削除をやめる曲を選び、SELECTを押してください。反転表示されていた曲番が元に戻ります。

途中で削除をやめるには

MENU/NOまたは■を押してください。

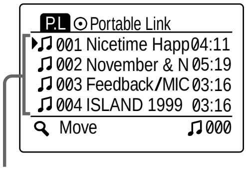
「不要な曲を1つづつ選んで消去する」（52ページ）と同じ操作でメモリー内蔵型ポータブルオーディオ（OpenMG対応機種）の曲を削除することもできます。この場合、曲を再生しながら確認することはできません。

曲順を変える

1 **電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「P.L」を表示させる。**

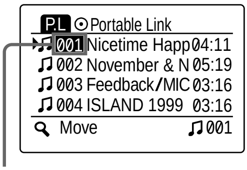
2 **MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。**

3 **▲または▼を押して「Move」を選びENTERを押す。**



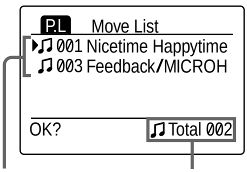
メモリー内蔵型ポータブルオーディオの曲のリスト

4 **▲または▼を押して移動する曲を選びSELECTを押す。**



選ばれた曲番

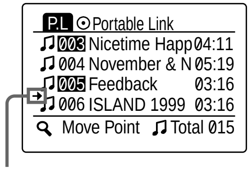
5 **手順4を繰り返し、選び終えたらENTERを押す。**



選ばれた曲のリスト　選ばれた総曲数

1曲しか選ばなかった場合は、このリストは表示されません。

6 **移動する曲のリストを確認してからENTERを押す。**



移動先を示すポインタ

7 **▲または▼を押して移動先を選びENTERを押す。**

リストにある全ての曲を1度に選ぶには

手順4でSELECTを押し続けてください。
選ぶのをやめるには、もう一度SELECTを押し続けてください。

曲を選ぶのをやめるには

手順5または6でENTERを押す前に、▲または▼を押して移動をやめる曲を選び、SELECTを押してください。反転表示されていた曲番が元に戻ります。

途中で移動をやめるには

MENU/NOを押してください。

ご注意

メモリー内蔵型ポータブルオーディオ（OpenMG対応機種）の中には、曲順を変更できない機種もあります。

初期化する

（フォーマット）

1 **電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「P.L」を表示させる。**

2 **MENU/NOを押してメニューを表示させてから、▲または▼を押して「編集」を選びENTERを押す。**

3 **▲または▼を押して「Format」を選びENTERを押す。**

4 **ENTERを押す。**
フォーマットがはじまります。

途中で初期化をやめるには

MENU/NOまたは■を押してください。

ご注意
メモリー内蔵型ポータブルオーディオ（OpenMG対応機種）の中には、初期化できない機種もあります。

使用できる機器一覧

● PORTABLE LINK端子へ（75ページ）

USB接続ケーブル（別売り）を使って、メモリー内蔵型ポータブルオーディオ（OpenMG対応機種）を接続します。

● AUX IN（OPTICAL）端子へ

光デジタル接続ケーブル（ステレオミニタイプ、別売り）を使って、DATやCDプレーヤー、BS/CSチューナーなどを接続できます。
または、オーディオ接続コード（別売り）を使って、MDデッキやテープデッキ、チューナー、ラジオなどを接続できます。

● SUB WOOFER端子へ

サブウーファーを接続できます。

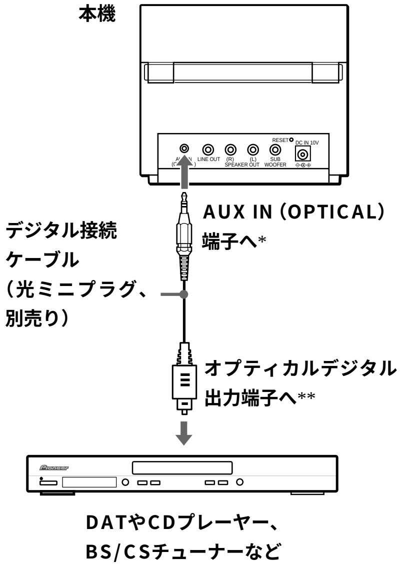
● LINE OUT端子へ

ポータブルMDレコーダーなどの録音機器またはアンプを接続できます。

接続する

デジタル機器を接続する

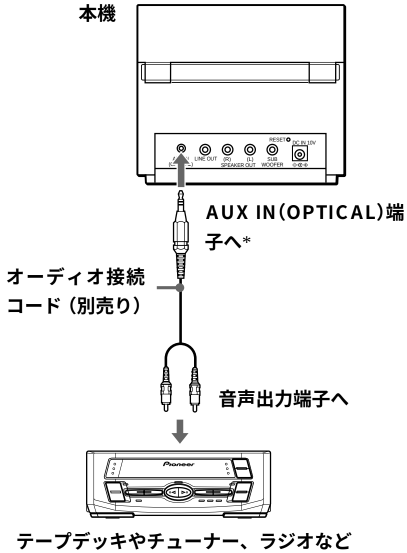
光デジタル接続ケーブルを使って接続します。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



* 端子は奥までしっかり差し込んでください。
** 端子の形状は、接続する機器によって変わります。

アナログ機器を接続する

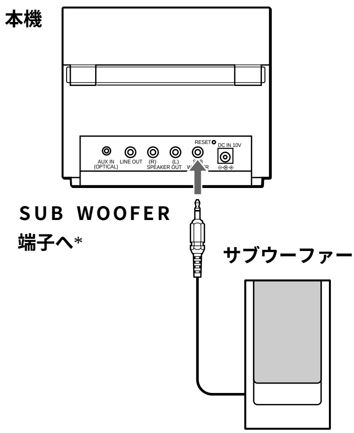
オーディオ接続コードを使って接続します。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



* 端子は奥までしっかり差し込んでください。

サブウーファーを接続する

オーディオ接続コードを使って接続します。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

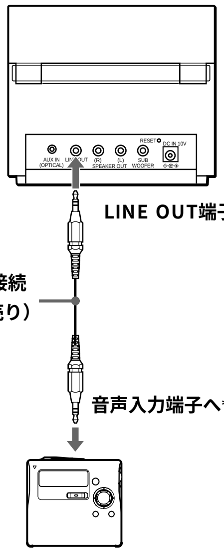


* 端子は奥までしっかり差し込んでください。

次ページへつづく

ポータブルMDレコーダーなどの録音機器またはアンプを接続する

オーディオ接続コードを使って接続します。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

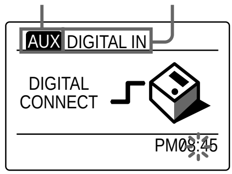


* 端子は奥までしっかり差し込んでください。
** 端子の形状は、接続する機器によって変わります。

AUX IN端子に接続した機器を録音する

本機に接続したデジタル、アナログ機器の音を録音することができます。接続について詳しくは「デジタル機器を接続する」、「アナログ機器を接続する」（83ページ）をご覧ください。
あらかじめ、接続した機器側で音源の準備（放送局の受信、MDなどの再生など）を行ってください。

1 電源を入れてから、FUNCTIONを繰り返し押して「AUX」を表示させる。
接続した機器の音が本機のスピーカーから聞こえます。



* アナログ接続した場合は「ANALOG IN」が表示されます。

2 RECを押す。
録音一時停止状態になりRECボタンのLEDが点滅します。



3 必要に応じて表示された項目の設定をする。

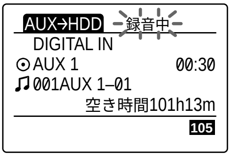
詳しくはそれぞれの操作手順をご覧ください。

「フォルダ：」→「フォルダを選んで録音する」（26ページ）
「Name：」→「アルバム名を付けて録音する」（28ページ）*
「ビットレート：」→「ビットレートを選ぶ」（31ページ）
「録音レベル：」→「録音レベルを調整する」（30ページ）

* アルバム名のみの編集となります。アーティスト名の編集はできません。

4 録音をはじめたいところで▶/❚❚を押す。

録音がはじまりRECボタンのLEDが点灯に変わります。



5 必要に応じて接続した機器側で音源の準備（目的のディスクや曲の再生など）をもう一度する。

録音を止めるには

■を押してください。もう一度■を押すと手順1の状態に戻ります。

録音の途中で曲を分けるには

録音を中断しないで曲を分ける場合は：

RECを押してください。

押す度にその場所に曲番が付きます。

録音を中断して曲を分ける場合は：

▶/❚❚を押してください。一時停止します。

▶/❚❚をもう一度押して録音を再開したところに曲番が付きます。

表示を切り換える

録音中にDISPLAYを繰り返し押すと、押すたびに次のように表示が切り換わります。

アルバム名/曲名/総録音経過時間
↕
HDDの空き時間

ご注意

- CDまたはMDをデジタル録音する場合、音源（CDまたはMD）と同じ曲番が自動的に付きます。
- アナログ録音またはCD、MD以外のデジタル録音の場合、録音中に音源*で1.5秒以上の無音状態（–50dB未満）が続いた後で、再び音が鳴り出す（–50dB以上）と、その時点で新しい曲番が付きます。無音状態が30秒以上続いた場合は、自動的に録音が止まります。
  * アナログ録音時はテープデッキやチューナー、ラジオなど、デジタル録音時はCS/BSチューナーなど。
- HDDの空き容量が3分未満になると「HDD FULL」が表示されます。
- HDDの空き容量が1分未満になると自動的に録音が止まります。
- 1回の録音で録音できる曲数は最大約400です。
- 1つのフォルダに録音できるアルバム数は最大で200、HDD全体で1000です。
- HDDに録音できる曲数は最大で3000です。
- 手順3の項目中では、アナログ録音時の録音レベルのみ設定が記憶されます。それ以外の項目は設定しても記憶されず、次回設定するときは初期値に戻ります。

使用上のご注意

ご注意

取り扱いについて

- 本機と他の機器をつないで使う際は、接続コード類に足などを引っ掛けないようご注意ください。
- CDプレーヤ部のふたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本体からACアダプターを外す時やコンセントを外すときはPOWERスイッチを押して電源を切った後外してください。

置き場所について

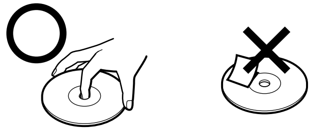
次のような場所には置かないでください
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く
- 窓を閉めきった自動車内（とくに夏季）
- 風呂場など、湿気が多いところ
- ほこりが多いところ
- 磁石、スピーカーボックス、テレビなど磁気を帯びたものの近く
- 時計、キャッシュカードなどの近く。（防磁設計になっていますが、録音済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、スピーカーの前面に近づけないでください。）

磁気を発生する物

ラック、置き台の扉に装着された磁石、健康器具、玩具などに使われている磁石など。

CDの取り扱いについて

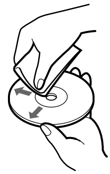
- 文字の書かれていない面（演奏面）に触れないように持ちます。
- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- 長時間演奏しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとそりの原因になります。
- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星形、ハート型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

お手入れについて

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で拭いた後、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので、使わないでください。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度お調べください。

こんなときは

再生について

症状	原因／処置
再生音が出ない	音量がゼロになっている →音量を上げてください。（23ページ）
音が歪んで聞こえる	録音時のレベルが高い →録音レベルを下げて録音してください。（30ページ）
メモリースティックを再生していたら急に音が止まった	メモリースティックの端子部が汚れている →メモリースティックを数回抜き差ししてください。
再生期限付きの音楽データを再生できない	● 日時が設定されていない →メニューで現在日時を設定してください。（16ページ） ● 有効期限外である →有効期限外の場合は再生できません。
CD再生がはじまらない	CDプレーヤ部のふたが開いている →ふたがしまっていることを確認してください。
CDが入っているのに「NO DISC」が表示される	● CDが裏返しにセットされている。 →文字のある面を上にセットしてください。 ● CDの汚れがひどい →CDをクリーニングしてください。（86ページ） ● レンズに露（水滴）が付いている → CDを取り出し、CDプレーヤ部のふたを開けたまま1時間くらい放置してください。 ● 本機ではCD-RWは再生できません。
音がとぶ、雑音が入る	● CDによっては音がとぶことがあります。 →音量を下げてください。（23ページ） ● CDの汚れがひどい →CDをクリーニングしてください。（86ページ） ● CDに傷がある →CDを取り換えてください。 ● 振動のある場所に置いている →振動のない場所に置いてください。 ● パソコンなどで記録したCD-Rなどは、音がとんだり雑音が入ることがあります。

表示窓について

症状	原因／処置
タイトル欄に「□」と表示される	本機で表示できない文字が使用されている →本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。（46ページ）

メモリー内蔵型ポータブルオーディオとの接続について

症状	原因／処置
メモリー内蔵型ポータブルオーディオが本機に認識されない	● USBコネクタが抜けている →USBコネクタを挿し直してください。（75ページ） ● HUBを使用している →HUBを外してください。
チェックアウトできる曲数が少ない（録音できる時間が短い）	フラッシュメモリーに音楽以外のデータが入っている → フラッシュメモリー内に音楽以外のデータが入っている分、チェックアウトできる曲数は減ります。音楽以外のデータをパソコンにコピーするなどして、使用できるデータの容量を増やしてください。
接続中の動作が不安定	USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用している → 動作の保証はできません。メモリー内蔵型ポータブルオーディオに付属の専用USBケーブルのみで直接本機と接続してください。

その他

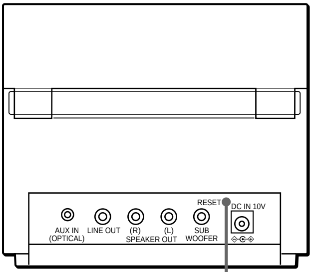
症状	原因／処置
メモリースティックが挿入できない	表裏を逆にして挿入している →本機に表示してあるイラストと同じ方向に挿入してください。（59ページ）
時計がリセットされる	ACアダプターを抜いてしばらく放置した →故障ではありません。
他の機器で使っていたメモリースティックで音楽データの転送ができない	● MG メモリースティックでない →MG メモリースティック以外はご使用になれません。 ● パソコンなどでフォーマット（初期化）してある →必要なデータをパソコンなどにコピーしたうえで、74ページの方法で本機でフォーマットし直してください。
タイマーが働かない	● 時計が設定されていない ● 停電があった →時計を正しく合わせてください。（16ページ）
リモコンで操作できない	● 電池が消耗している →新しいものと交換してください。（15ページ） ● リモコンを向けている方向が悪い →本体のリモコン受光部に向けて操作する。 →本体とリモコンの間の障害物を取り除く。 ● 本体のリモコン受光部に強い光（直射日光や高周波点灯の蛍光灯など）が当たっている →強い光が当たらないようにする。

リセットするには

本機はマイコンを使用し、各連係動作を行なっています。そのため、電源事情その他により、動作が不安定になることがあります。上記のチェック項目を確認しても動作が正常でないときは、

① POWERスイッチを押して電源を切る。
② 電源プラグをコンセントから抜いて約20秒後にもう一度差し込む。

①の操作で電源が切れない場合は、本体(裏面)にあるRESETボタンを先のとがったもので押して電源を切ってください。
それでもまだ正しく動かないときは、カスタマーサポートセンターまたはお買い上げ店、パイオニアのサービス窓口にご連絡ください。



デジタルコピーに関するご注意

デジタルオーディオ（CD、MD、CD-R、衛星デジタル音楽放送など）では、音声信号をデジタル信号にてやり取りすることができます。
アナログ信号と違いデジタル信号でのやり取りでは、音楽を劣化の少ない状態で録音することが可能なために、音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制が必要となりました。
それが、シリアルコピーマネージメントシステム(Serial Copy Management System)で、デジタル信号による録音を「何世代まで」と規制している方式です。概要は、以下の通りです。

1 デジタル録音されたものを、さらに別のデジタル録音機器（MDやCD-R）へデジタル録音することはできない。

2 アナログ録音されたものは、別のデジタル録音機器（MDやCD-R）へ1度だけデジタル録音することができる。

ご注意

- CS/BSチューナーでは、放送局側で放送チャンネルや番組のデジタル録音を禁止または制約している場合があるため、デジタル録音できないことがあります。
- アナログ録音をする場合は、シリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)は関係ありません。

メッセージ一覧

本機を使用中、状況によってメッセージが点滅します。下の表に従ってチェックしてみてください。

HDD関連のメッセージ

メッセージ	意味	処置
ALBUM FULL	これ以上フォルダ内にアルバムを作れない。	不要なアルバムを削除してください。（52ページ）
ALL ALBUM FULL	これ以上HDD内にアルバム（MY SELECTリスト）を作れない。	不要なアルバムを削除してください。
ALL TRACK FULL	これ以上HDD内に曲を作れない。	不要な曲を削除してください。
CANNOT COMBINE	コンバインできない。	
CANNOT DIVIDE	デバイドできない。	
CANNOT ERASE	消去できない。	
CANNOT NAME EDIT	● 名前編集ができないアルバム/曲を選択した。 ● フォルダがMY SELECT、Tempしかないときにフォルダ名を編集しようとした。	名前編集のできるアルバム/曲を選択してください。
CANNOT MOVE	移動できない移動先を指定した。	移動できる移動先を指定してください。
CANNOT PLAY	● このコンテンツのビットレートは本機では再生できない。	
	● 時計を合わせる前に再生期限付の曲を再生している。	数秒後に次の曲の再生に移ります。
CANNOT REC	録音できない曲である。	
CANNOT SELECT	操作中の機能では選択できないフォルダ、アルバム、曲などを選んだ。	選択できるものを選んでください。
DB ERROR	データベースのエラー。	
EXPIRED	再生制限条件（再生回数/期限）により、曲が再生できない。	
FOLDER FULL	これ以上フォルダを作れない。	不要なフォルダを削除してください。（52ページ）
HDD ACCESS ERROR	HDDにアクセスできない。	
HDD ERROR	● HDDが認識されていない。 ● 不正なHDDが組み込まれている。	
HDD FULL	● 録音中に録音可能時間が3分未満になった。 ● HDDがいっぱいになった。	不要なフォルダ、アルバム、曲を削除してください。（52ページ）
INPUT DATA FULL	文字数が入力可能数を超えた。	
NAME DATA FULL	文字数が入力可能数を超えた。	
NO ALBUM	アルバム選択時にアルバムが無い。	
NO CONTENTS	選択対象となる曲がない。	

メッセージ	意味	処置
NO NAME OK?	文字が入力されていない。	● MENU/NOを押した後、文字を入力し直してください。 ● 無名でよければENTERを押してください。
OUT OF RANGE	DIVIDE編集時に分割ポイントを選んだ曲以外に設定しようとした。	選んだ曲の中に分割ポイントを設定してください。（56ページ）
OVER	録音レベル設定時に過剰な入力があった。	録音レベルを下げてください。（30ページ）
TRACK ERROR	曲データを読みとれない。	別の曲を選んでください。
TRACK FULL	これ以上曲を録音できない。	不要な曲を削除してください。（52ページ）
DIGITAL UNLOCK	AUX端子にデジタル接続した機器を録音しようとしたが、信号がロックしていない。	光デジタル接続ケーブルを、もう一度接続し直してください。
? / ?（曲名/演奏時間）	曲データを読みとれない。	削除してください。
漢字変換できません	辞書が起動していない、または辞書がない。	電源を切り、もう一度入れ直してみてください。それでも解決できないときは、本機をパイオニアのサービス窓口にお持ちください。
反映できない曲があります	アーティスト名をアルバム内の全曲に反映できない。	ENTERを押してから、曲ごとに文字編集をしてください。
文字コードが違うため一部の文字が削除されますが、いいですか？	文字編集する名前が本機で直接編集できないコードを使用している。	文字編集する場合はENTERを押してから、文字編集をしてください。 文字編集しない場合はMENU/NOを押してください。
文字コードが違うため文字が全て削除されますが、いいですか？	文字編集する名前が本機で直接編集できないコードを使用している。	文字編集する場合はENTERを押してから、文字編集をしてください。 文字編集しない場合はMENU/NOを押してください。

CD関連のメッセージ

メッセージ	意味	処置
DISC ERROR	ディスクを読みとれない。	ディスクを交換してください。
NO DISC	ディスクがない。	ディスクをセットしてください。
TOC READ	TOCを読み込んでいる。	

メモリースティック関連のメッセージ

メッセージ	意味	処置
CANNOT PLAY	● 本機では再生できないコンテンツである。 ● チェックアウトの途中で転送を強制中断した時にできた曲である。 ● メモリー内蔵型ポータブルオーディオを接続しているときに再生させようとした。	● 電源を切り、もう一度入れ直してから表示を確認してください。 ● 再生できないデータがある場合は、メモリースティックから削除することができます。 詳しくは、「初期化する」（74ページ）をご覧ください。 ● 対応するビットレートの曲を再生してください。 ● 再生回数制限付きコンテンツは再生できません。 ● 再生時限のある曲を再生するときは、あらかじめ本機の時計を設定してください。
CANNOT RESTORE	リストアできない	不要なデータをメモリースティックから削除してください。メモリースティック再生中は停止してから行なってください。
CANNOT STORE	ストアできない	メモリースティック再生中は停止してから行なってください。メモリースティック内に同じ種類のデータがある場合はストアできません。
ERROR	本機の異常が認識された。	電源を切り、もう一度入れ直してみてください。 解決しない場合は、本機をパイオニアのサービス窓口にお持ちください。
EXPIRED	● 再生時限付きの音楽データを有効期限外に再生しようとしている。 ● 再生時限付きの音楽データ再生しようとしているが、本機の時計設定がされていない。 ● 本機で対応していない制限付きの音楽データを再生しようとしている。	● 時計設定をしていない場合は、本機のメニューで日時設定を行ってください。（16ページ） ● 再生できないデータがある場合は、本機またはメモリースティックから削除することができます。 詳しくは、「初期化する」（74ページ）をご覧ください。
FORMAT ERR	本機で再生できないフォーマットのメモリースティックが挿入されている。（パソコンでフォーマットした場合など）	74ページの方法でフォーマット（初期化）してください。（必ず、本機を使ってフォーマットしてください。パソコンでフォーマットすると、チェックイン／アウトはできても、本機で再生できません）
MG ERROR	著作権に対して不正なファイルを検出した。	● 電源を切り、もう一度入れ直してから表示を確認してください。 ● ライトプロテクトスイッチがONの場合、OFFにしてからもう一度入れ直してから表示を確認してください。 ● 本機でメモリースティックをフォーマット（初期化）してください。詳しくは、「初期化する」（74ページ）をご覧ください。

メッセージ一覧（つづき）

メッセージ	意味	処置
MS LOCKED	メモリースティックの誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	メモリースティックを初期化するときまたはアルバム名編集時は、誤消去防止スイッチをOFFにしてください。
NO AUDIO	MG メモリースティック以外のメモリースティックが挿入されている。	MG メモリースティックが挿入されているか確認してください。音楽データの入っていないMGメモリースティックの場合は、音楽データをチェックアウトしてください。
NO MEMORY SPACE	メモリースティックがいっぱいになっている。	不要なデータをメモリースティックから削除してください。
NO STICK	メモリースティックが挿入されていない。	メモリースティックを挿入してください。
READ ONLY MEMORYSTICK	読み出し専用のメモリースティックである。	このメモリースティックは編集はできません。
STICK ERROR	● メモリースティックにアクセスできない。 ● メモリースティックの異常、または本機の異常が認識された。	● 電源を切り、もう一度入れ直してから表示を確認してください。 ● メモリースティックを一度抜き差ししてみてください。 解決しない場合は、チェックアウト可能なデータをもとの機器にチェックインで戻してから、本機でメモリースティックをフォーマット（初期化）してください。（詳しくは下記「初期化する」（74ページ）参照 ） それでも解決しない場合は、本機とメモリースティックの両方をパイオニアのサービス窓口にお持ちください。

メモリー内蔵型ポータブルオーディオ関連のメッセージ

メッセージ	意味	処置
NO CONNECT	メモリー内蔵型ポータブルオーディオが接続されていない。	● 接続を確認してください。 ● メモリー内蔵型ポータブルオーディオの電源を確認してください。
Portable Link ERROR	● メモリー内蔵型ポータブルオーディオに接続できない。 ● メモリー内蔵型ポータブルオーディオと通信ができない。	● メモリー内蔵型ポータブルオーディオが接続されているか確認してください。 ● メモリー内蔵型ポータブルオーディオをもう一度抜き差ししてみてください。 ● メモリー内蔵型ポータブルオーディオの電池を確認してください。 それでも解決できないときは、本機とメモリー内蔵型ポータブルオーディオの両方をパイオニアのサービス窓口にお持ちください。

次ページへつづく

メッセージ一覧（つづき）

メッセージ	意味	処置
非対応機器が接続されています。メモリースティックに対応している機器を接続されている場合には、メモリースティックを本機のメモリースティックスロットに挿入してください。	USBマウスや対応していない機器が接続されている（USBハブが接続されている場合も含む）。	● 対応機器かどうか確認してください。 ● しばらく待ってください。しばらく経つと表示が変わる場合があります。 ● USB-HUBには対応していません。

その他のメッセージ

メッセージ	意味	処置
ACCESS	アクセス中。	アクセスが終わるまでお待ちください。アクセス中はメモリースティックおよびメモリー内蔵型ポータブルオーディオを抜かないでください。
BUSY	本機がデータの処理中である。	処理が終わるまでお待ちください。
CANNOT	● スリープタイマー設定中に編集操作をしようとした。 ● メモリースティック/メモリー内蔵型ポータブルオーディオが接続されていないのに編集操作をしようとした。 ● メモリー内蔵型ポータブルオーディオで対応していない編集操作をしようとした。	
ERROR	何らかのエラーが発生している。	
Now HDD Checking	電源を入れた直後に、データベースをチェック中である。	処理が終わるまでお待ちください。
HDD RECOVERY	データベースの修復中である。	処理が終わるまでお待ちください。
HDDの交換時期が近づいています	—	本機をパイオニアのサービス窓口にお持ちください。
NO CONTENTS	選択対象となる曲が無い。	
NO SELECT	編集操作中の選択場面で、何も選ばずに次の手順に進んだ。	選択してから次の手順に進んでください。
スリープ再生中	スリープ再生中に編集操作をした。	スリープ再生を解除してから、編集操作をしてください。
時計の設定をしてください	本機の時計が設定されていない。	「時計を合わせる」（16ページ）で時刻を合わせてください。

日ごろのお手入れ

結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



保証とアフターサービス

保証書（別添）について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、補修用性能部品を製造打ち切り後、最低８年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

８７～９４ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：HDD DIGITAL JUKEBOX
- 型番：X-HD1
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ お願い

修理のために本機をお持ちいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。
ハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。また記録されていたデータは、保証しません。ご容赦ください。

主な仕様

アンプ部

実用最大出力	2.5W + 2.5W (JEITA* 3Ω負荷)
入力端子	AUX IN端子：500mV、47kΩ、ステレオミニジャック/光デジタルジャック（対応サンプリング周波数32/44.1/48kHz）共用
出力端子	ヘッドホン端子：ステレオミニジャック、16～68Ω、出力10mW + 10mW（16Ω） LINE OUT端子：ステレオミニジャック、500mV、47kΩ負荷時 WOOFER OUT：モノラルミニジャック PORTABLE LINK端子：専用ジャック（USB準拠）

CDプレーヤー部

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
周波数特性	20Hz～20kHz

メモリースティック部

最大録音時間

（64MBマジックゲートメモリースティック使用時）

約60分（132kbps）

約80分（105kbps）

再生信号圧縮方式

アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング3（ATRAC3）

周波数特性　20～20kHz

HDD部

HDD容量	5.5GB（IGB=10億バイトで算出）
最大録音時間	約88時間（132kbps） 約110時間（105kbps）
再生信号圧縮方式	アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング3（ATRAC3）
周波数特性	20Hz～20kHz

スピーカーシステム

形式	2 way 位相反転型、AV対応防磁型
使用スピーカー	7cm コーン型 × 2
公称インピーダンス	3Ω
再生周波数帯域	80Hz ～ 20kHz
最大入力	5W

その他

電源	DC 10V、ACアダプター（付属）を接続してAC100V、50/60Hzから使用
消費電力	14W（JEITA*）
動作温度	5～35℃
最大外形寸法（幅×高さ×奥行）	本体：約135 × 114 × 140mm スピーカー：約95 × 195 × 95mm
質量	本体：約1.2kg スピーカー：約1.0kg（1台）
付属品	リモコン（1） ACアダプター（1） 電源コード（1） 単3形乾電池（2） 取扱説明書（1） ご相談窓口・修理窓口のご案内（1） 安全上のご注意（1） 保証書（1） ご愛用者カード（1）

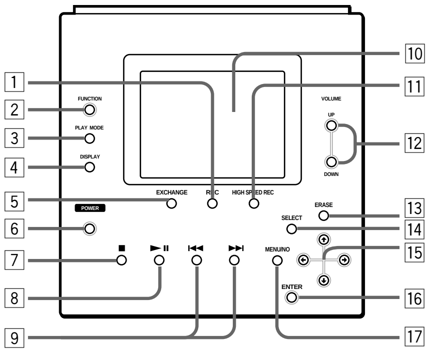
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

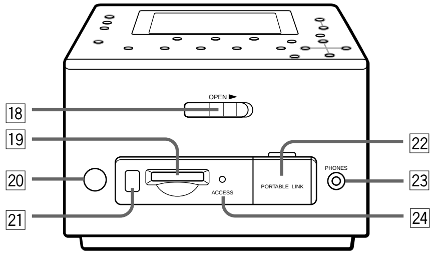
各部のなまえ

（　）内のページに詳しい説明があります。

本体（前面）

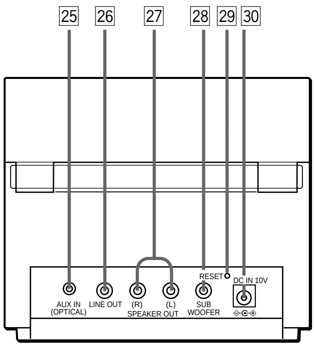


1　RECボタン(21)
2　FUNCTIONボタン(18、20、22、76、84)
3　PLAY MODEボタン(36、47)
4　DISPLAYボタン(19、28、35、61、75、85)
5　EXCHANGEボタン(47、65、79)
6　POWERスイッチ(16)
7　■(停止)ボタン(19、34、60)
8　►/❚❚(再生/一時停止)ボタン(19、34、60)
9　|◄◄ ►►|(頭出し/ サーチ)ボタン(19、34、60)
10　表示窓
11　HIGH SPEED RECボタン(21)
12　VOLUME(音量)UP/DOWNボタン(23)
13　ERASEボタン(52)
14　SELECTボタン(29、47)
15　↑、↓、←、→(矢印) ボタン(16、25、46、47)
16　ENTERボタン(16)
17　MENU/NOボタン(16、23)



18　OPENレバー(18、20)
19　メモリースティックスロット(59)
20　リモコン受光部(46)
21　メモリースティック取り出しボタン(59)
22　PORTABLE LINK端子(75)
23　ヘッドホン端子
24　ACCESSランプ(59)

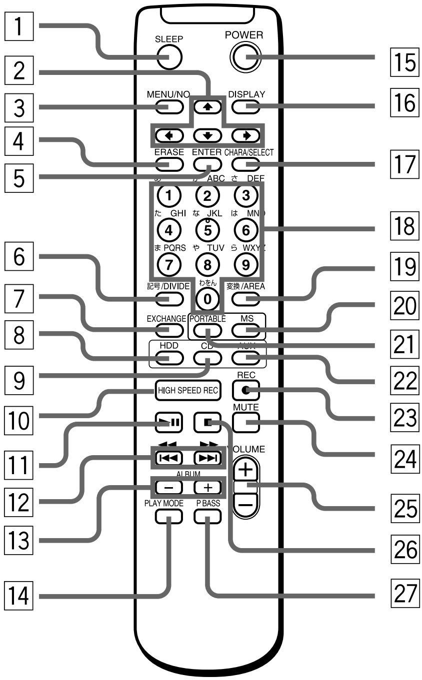
本体（裏面）



25　AUX IN(OPTICAL)端子(83)
26　LINE OUT端子(84)
27　SPEAKER OUT (R)/(L)端子(15)
28　SUB WOOFER端子(83)
29　RESETボタン(89)
30　DC IN端子(15)

その他

リモコン



1 SLEEPボタン(44)
2 ↑/↓/←/→(矢印)ボタン(16、25、46、47)
3 MENU/NOボタン(16、23)
4 ERASEボタン(52)
5 ENTERボタン(16)
6 記号/DIVIDEボタン(46、56)
7 EXCHANGEボタン(65、79)
8 HDDボタン(22)
9 CDボタン(18、20)
10 HIGH SPEED RECボタン(21)
11 ►/❚❚(再生/一時停止)ボタン(19、34、60)
12 ❙◄◄ ►►❙(頭出し)/◄◄ ►►(サーチ)ボタン(19、34、60)
13 ALBUM +/–(アルバム移動)ボタン(34)
14 PLAY MODEボタン(36、47)
15 POWERボタン(16)
16 DISPLAYボタン(19、28、35、61、75、85)
17 CHARA/SELECTボタン(29、47)
18 数字/文字ボタン(35、47)
19 変換/AREAボタン(36、47)
20 MS(メモリースティック)ボタン(59)
21 PORTABLE(メモリー内蔵型ポータブルオーディオ)ボタン(76)
22 AUX(外部入力)ボタン(84)
23 ●RECボタン(21)
24 MUTEボタン(23)
25 VOLUME(音量)+/–ボタン(23)
26 ■(停止)ボタン(19、34、60)
27 P.BASSボタン(23)

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

アルファベット順

A、B、C

D、E、F、H、L、M

O、P、R、S、T

U、W

- OpenMGおよびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- “ MagicGate Memory Stick ”「マジックゲート メモリースティック」および MG は、ソニー株式会社の商標です。
- “ Memory Stick ”「メモリースティック」 および は、ソニー株式会社の商標です。
- “ MagicGate ”「マジックゲート」 および MAGICGATE は、ソニー株式会社の商標です。
- 本機は恵梨沙フォントプロジェクト所有の文字フォントを使用しています。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア（株）のモバイルWnnを使用しています。
  “ Mobile Wnn ”© OMRON SOFTWARE, Co., Ltd. 1999–2001 All Rights Reserved

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

- 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞｼﾞｭｱﾙ製品のお問い合わせ窓口　フリーフォン 0070-800-8181-22
- カタログのご請求窓口　フリーフォン 0070-800-8181-33

＜ご注意＞
- ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
- 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html

愛情点検

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？
・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
・電源コードにさけめやひび割れがある。
・電気が入ったり切れたりする。
・本体から異常な音、熱、臭いがする。

⇩

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または、お近くのパイオニアステーションに点検（有料）をご依頼ください。

高調波ガイドライン適合品

この説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<TSWZF/01I00001>　<3-237-977-01>